

第 2 章 調査結果

1 子ども・子育てニーズ調査

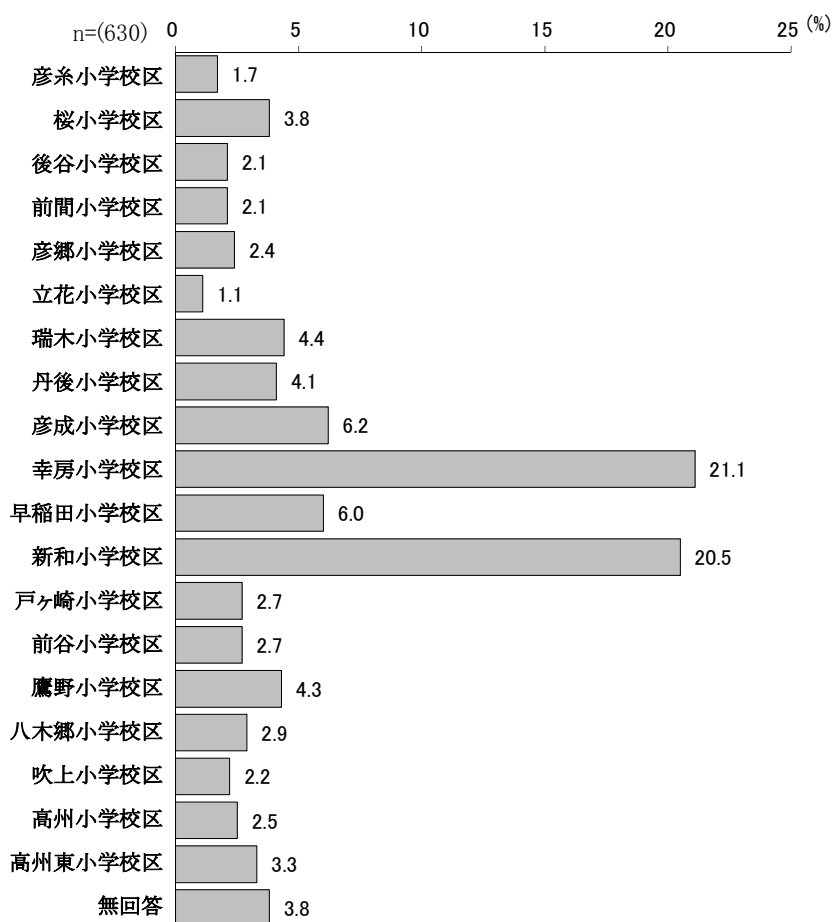
1.1 就学前保護者調査

1. お住まいの地域について

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

回答者の居住地区は、「幸房小学校区」の21.1%、次いで「新和小学校区」の20.5%が特に多くなっています。

図表1 居住地区

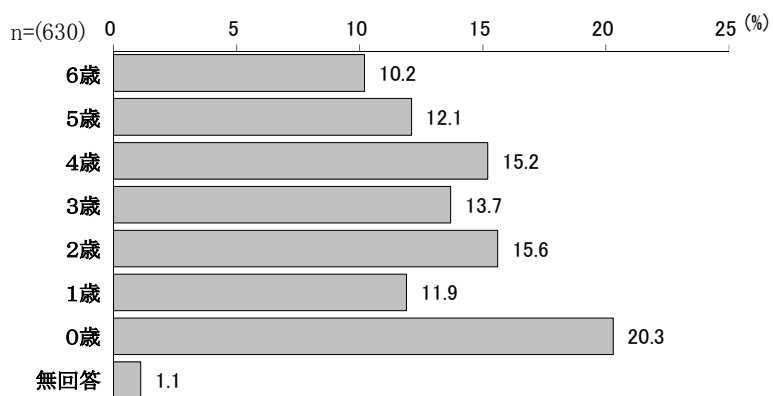


2. 子どもと家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

生年月日から年齢を計算した結果、「0歳」が20.3%で最も多く、次いで「2歳」が15.6%、「4歳」が15.2%、「5歳」が12.1%となっています。

図表2 子どもの年齢

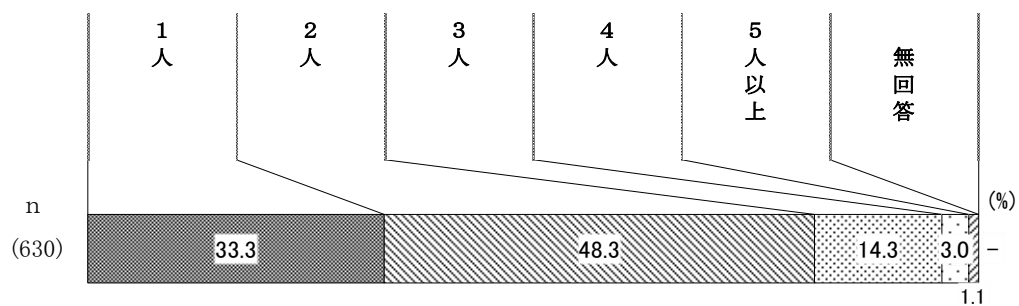


問3 宛名のお子さんも含めて、きょうだいは何人いらっしゃいますか。お2人以上の場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

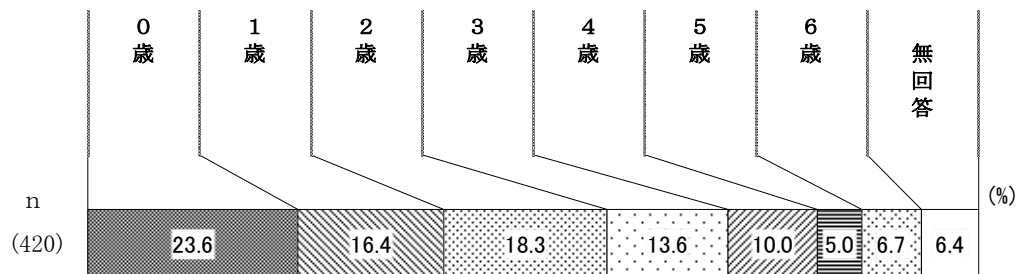
子どもの人数については、「2人」が48.3%で半数を占め、次いで「1人」が33.3%、「3人」が14.3%となっています

また、子どもが2人以上いると回答した方に、末子の年齢を尋ねたところ、「0歳」が23.6%で最も多く、次いで「2歳」が18.3%、「1歳」が16.4%、「3歳」が13.6%などとなっています。

図表3 きょうだいの人数



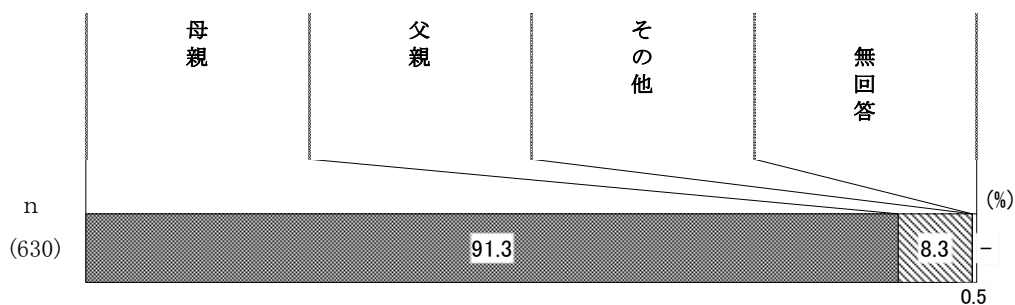
図表4 末子の年齢



問4 ご回答いただいている方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

調査票の回答者については、「母親」が91.3%、「父親」が8.3%となっています。

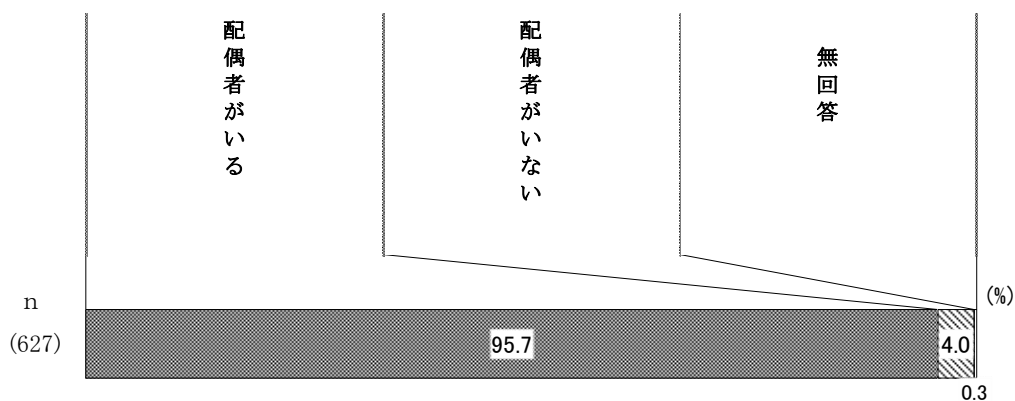
図表5 調査票回答者



問5 ご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

調査票回答者の配偶関係については、「配偶者がいる」が95.7%、「配偶者がいない」が4.0%となっています。

図表6 回答者の配偶関係

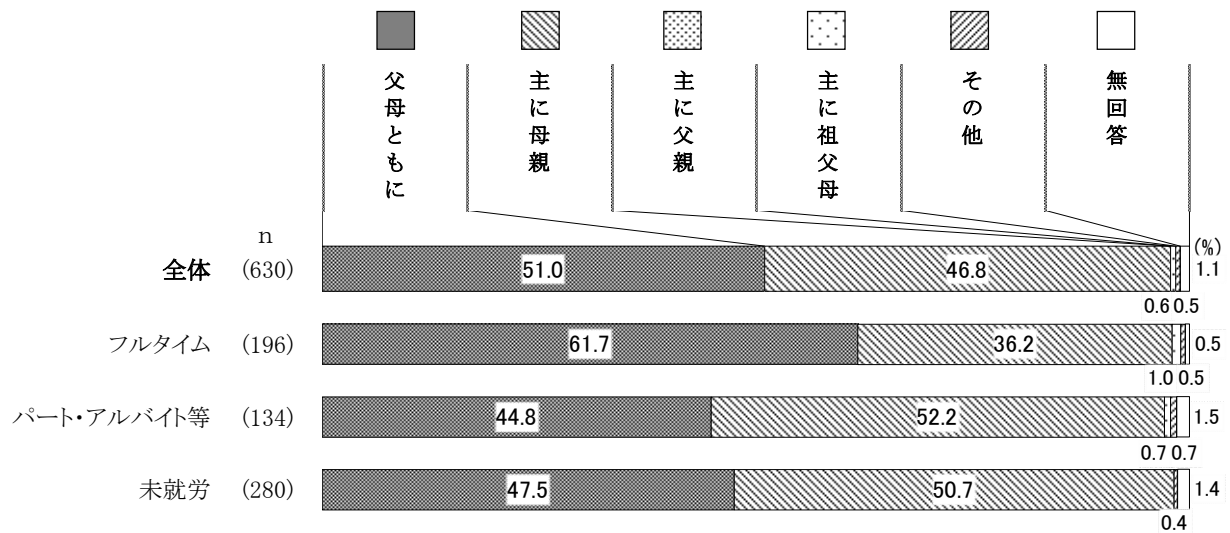


問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育てを主に行っている人については、「父母ともに」が51.0%と過半数を占めています。以下、「主に母親」が46.8%、「主に父親」が0.0%となっています。

母親の就労状況別にみると、母親が「フルタイム」で働いていると、「父母ともに」が61.7%と多く、「主に母親」が少なくなっています。

図表7 子育てを主に行っている人：母親の就労状況別



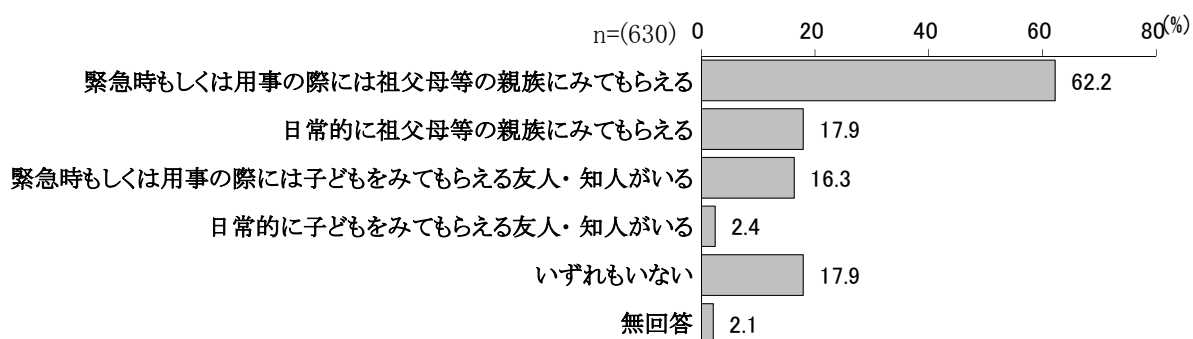
3. 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

日頃、子どもを預かってもらえる親族の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が62.2%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が17.9%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が16.3%となっています。

一方、「いずれもない」が17.9%となっています。

図表8 日頃、宛名の子どものみてもらえる親族・知人の有無（複数回答）



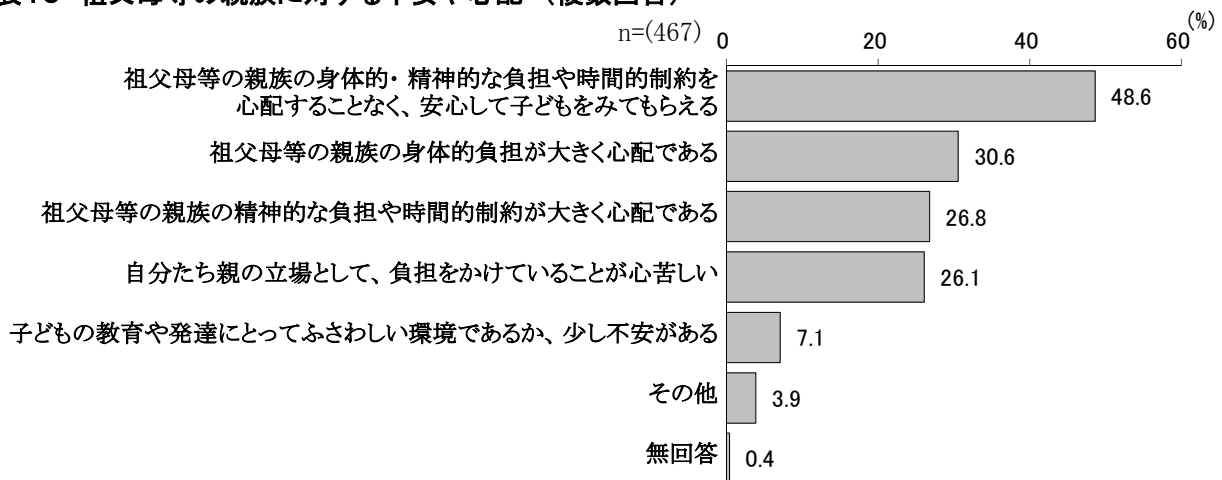
図表9 日頃、宛名の子どものみてもらえる親族・知人の有無（複数回答）：子どもの年齢、母親の就労状況別

(単位 上段:件 下段:%)		調査数	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
全 体		630 100.0	113 17.9	392 62.2	15 2.4	103 16.3	113 17.9	13 2.1
子どもの年齢	0歳	128 100.0	26 20.3	87 68.0	3 2.3	11 8.6	23 18.0	1 0.8
	1～2歳	173 100.0	33 19.1	106 61.3	3 1.7	22 12.7	35 20.2	2 1.2
	3歳以上	322 100.0	53 16.5	194 60.2	9 2.8	70 21.7	55 17.1	8 2.5
母親の就労状況	フルタイム	196 100.0	34 17.3	121 61.7	3 1.5	26 13.3	35 17.9	2 1.0
	パート・アルバイト等	134 100.0	26 19.4	80 59.7	5 3.7	32 23.9	21 15.7	2 1.5
	未就労	280 100.0	46 16.4	184 65.7	7 2.5	40 14.3	54 19.3	7 2.5

問7-1 問7で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した方にうかがいます。
祖父母等の親族に対して、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

親族にみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が48.6%と最も多く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が30.6%、「祖父母等の親族の精神的な負担や時間的制約が大きく心配である」が26.8%となっています。

図表10 祖父母等の親族に対する不安や心配（複数回答）



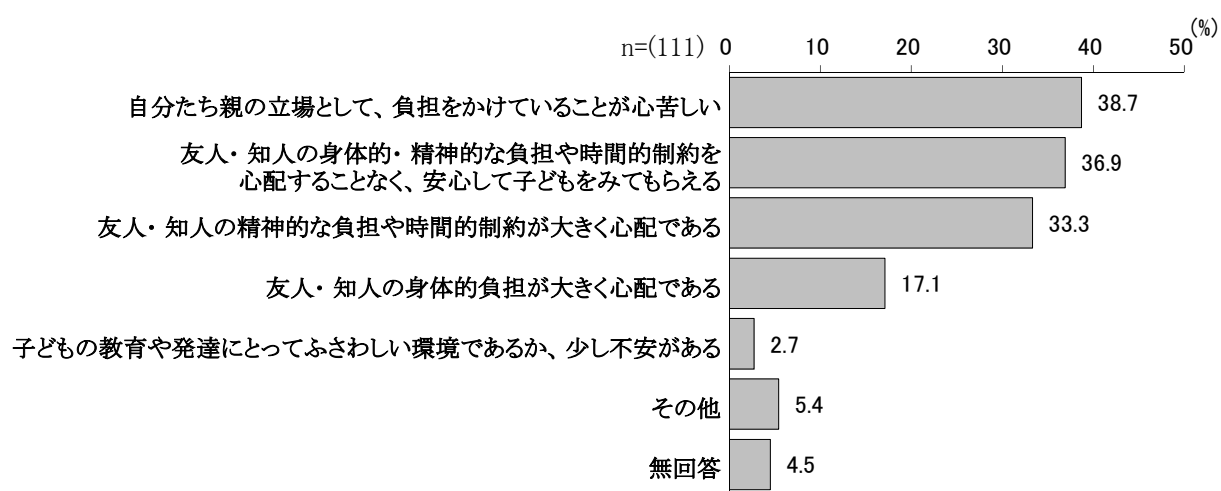
図表9 祖父母等の親族に対する不安や心配（複数回答）：子どもの年齢、母親の就労状況別

(単位 上段:件 下段:%)		調査数	祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	祖父母等の親族の精神的な負担や時間的制約が大きく心配である	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	無回答
全 体		467 100.0	227 48.6	143 30.6	125 26.8	122 26.1	33 7.1	18 3.9
子どもの年齢	0歳	102 100.0	57 55.9	30 29.4	29 28.4	20 19.6	5 4.9	5 4.9
	1～2歳	126 100.0	49 38.9	48 38.1	38 30.2	37 29.4	14 11.1	7 5.6
	3歳以上	234 100.0	119 50.9	63 26.9	58 24.8	63 26.9	12 5.1	6 2.6
母親の就労状況	フルタイム	150 100.0	61 40.7	60 40.0	44 29.3	49 32.7	14 9.3	6 4.0
	パート・アルバイト等	97 100.0	44 45.4	23 23.7	30 30.9	27 27.8	4 4.1	4 4.1
	未就労	207 100.0	115 55.6	58 28.0	48 23.2	44 21.3	14 6.8	7 3.4

問7-2 問7で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と回答した方にうかがいます。
友人・知人に対して、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

友人・知人にみてもらっている状況では、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が38.7%と最も多く、次いで「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が36.9%、「友人・知人の精神的な負担や時間的制約が大きく心配である」が33.3%となっています。

図表11 友人・知人に対する不安や心配（複数回答）



問8 宛名のお子さんの子育て（発育・教育を含む）、発達に関することで、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

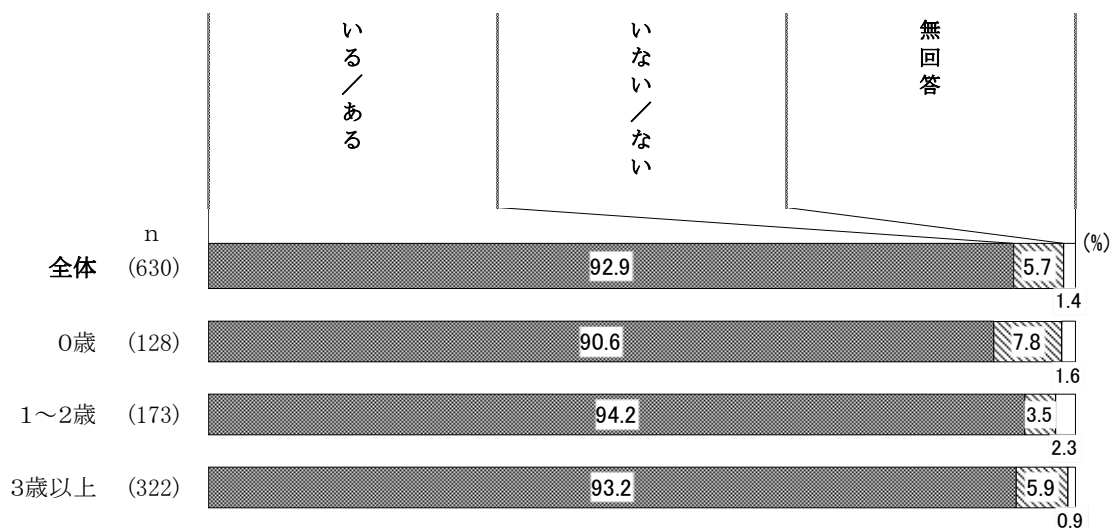
子育てや発達に関して気軽に相談できる人や場所について、「いる／ある」が92.9%となっています。前回の調査に比べて、「いる／ある」は1.4ポイント増となっています。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢にかかわらず「いる／ある」が9割台となっています。

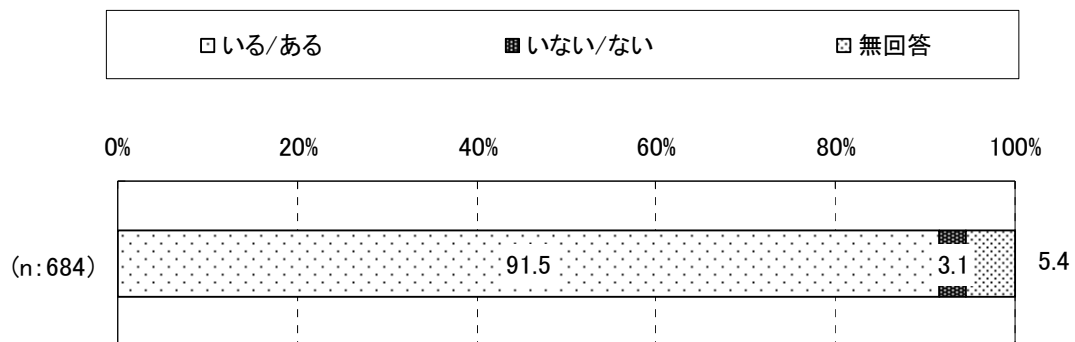
「いない／ない」は5.7%となっています。前回調査と比べて、「いない／ない」は2.6ポイント増となっています。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢にかかわらず「いない／ない」が1割未満となっています。

図表12 子どもの子育て、発達に関することで、気軽に相談できる人や場所の有無：子どもの年齢別



<参考> 前回 平成25年度調査（就学前保護者）



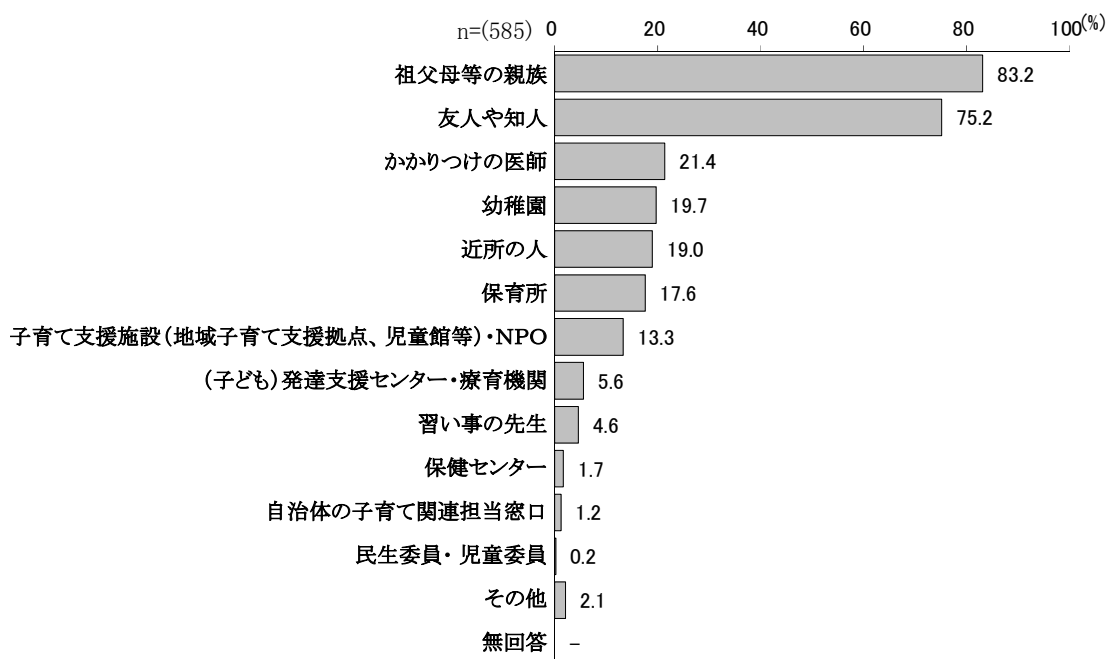
問8-1 問8で「いる／ある」と回答した方にうかがいます。

お子さんの子育て（発育・教育を含む）、発達に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

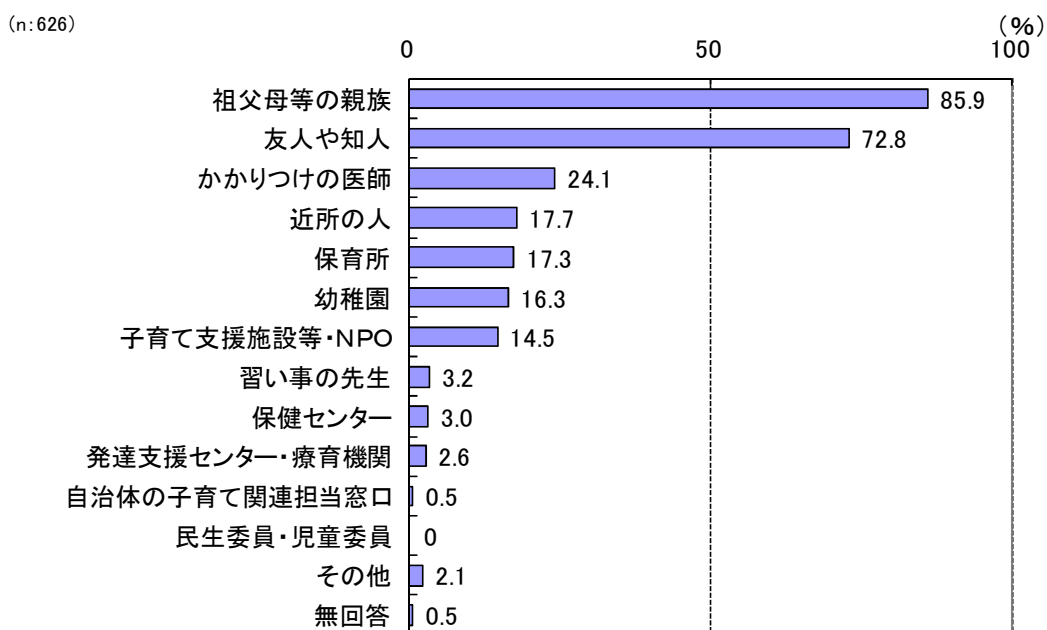
相談先について、「祖父母等の親族」の83.2%と「友人や知人」の75.2%がともに7割を超えて多く、次いで「かかりつけの医師」「幼稚園」「近所の人」の順となっています。

前回の調査に比べて、上位3つの順位に変動はありません。

図表13 子どもの子育て（発育・教育を含む）、発達に関して、気軽に相談できる相手、場所（複数回答）



<参考>前回 平成25年度調査（就学前保護者）（複数回答）



図表14 子どもの子育て（発育・教育を含む）、発達に関して、気軽に相談できる相手、場所（複数回答）
：子どもの年齢、母親の就労状況別

(単位 上段:件 下段:%)		調査数	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館等）・NPO	保健センター	保育所	幼稚園
全 体		585 100.0	487 83.2	440 75.2	111 19.0	78 13.3	10 1.7	103 17.6	115 19.7
子どもの年齢	0歳	116 100.0	108 93.1	91 78.4	17 14.7	22 19.0	1 0.9	11 9.5	5 4.3
	1～2歳	163 100.0	139 85.3	121 74.2	33 20.2	32 19.6	6 3.7	37 22.7	10 6.1
	3歳以上	300 100.0	236 78.7	225 75.0	61 20.3	24 8.0	3 1.0	55 18.3	97 32.3
母親の就労状況	フルタイム	183 100.0	149 81.4	143 78.1	24 13.1	24 13.1	4 2.2	79 43.2	9 4.9
	パート・アルバイト等	129 100.0	105 81.4	99 76.7	28 21.7	10 7.8	1 0.8	22 17.1	48 37.2
	未就労	254 100.0	219 86.2	184 72.4	55 21.7	42 16.5	5 2.0	－ －	52 20.5

		民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の子育て関連担当窓口	（子ども）発達支援センター・療育機関	習い事の先生	その他	無回答
全 体		1 0.2	125 21.4	7 1.2	33 5.6	27 4.6	12 2.1	－ －
子どもの年齢	0歳	－ －	29 25.0	3 2.6	2 1.7	1 0.9	2 1.7	－ －
	1～2歳	－ －	37 22.7	2 1.2	4 2.5	8 4.9	－ －	－ －
	3歳以上	1 0.3	57 19.0	2 0.7	25 8.3	18 6.0	10 3.3	－ －
母親の就労状況	フルタイム	－ －	36 19.7	2 1.1	3 1.6	4 2.2	7 3.8	－ －
	パート・アルバイト等	1 0.8	24 18.6	－ －	9 7.0	13 10.1	1 0.8	－ －
	未就労	－ －	60 23.6	5 2.0	19 7.5	9 3.5	3 1.2	－ －

4. 保護者の就労状況について

問9 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

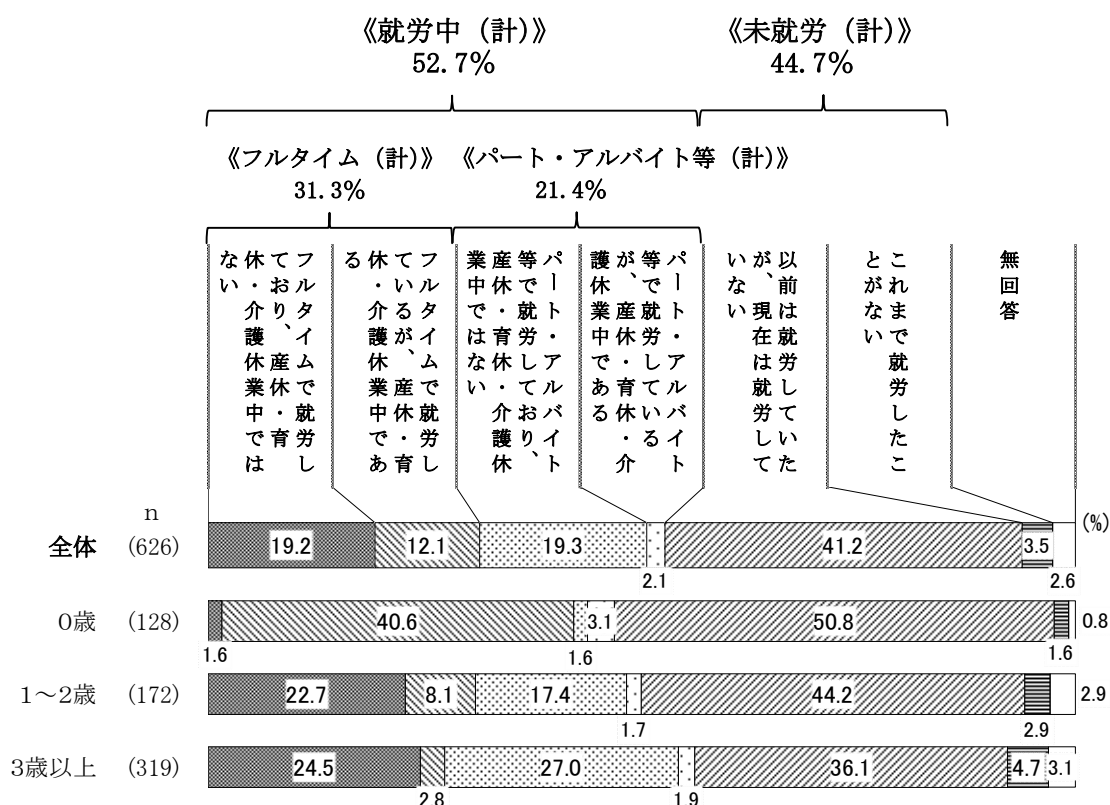
就労中（産休・育休・介護休業中を含む）の母親は、52.7%となっています。

前回の調査に比べて、母親が《就労中（計）》の割合は6.1ポイント増えています。

子どもの年齢別にみると、子どもが0歳では、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が40.6%と多いですが、子どもの年齢が上がるにつれて少なくなり、母親が《就労中（計）》の割合は増えています。

また、フルタイム就労（産休・育休・介護休業中を含む）は31.3%、パート・アルバイト等で就労（産休・育休・介護休業中を含む）は21.4%ですが、子どもの年齢が上がるにつれてフルタイム就労（産休・育休・介護休業中を含む）が少なくなり、パート・アルバイト等で就労（産休・育休・介護休業中を含む）が増えています。

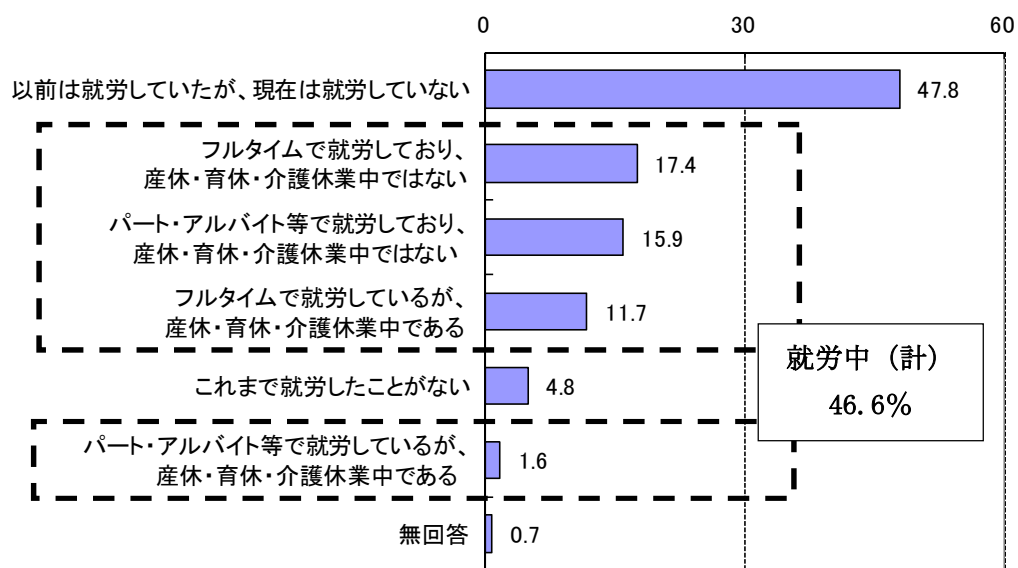
図表15 母親の就労状況：子どもの年齢別



<参考> 前回 平成25年度調査（就学前保護者）

(n:684)

(%)



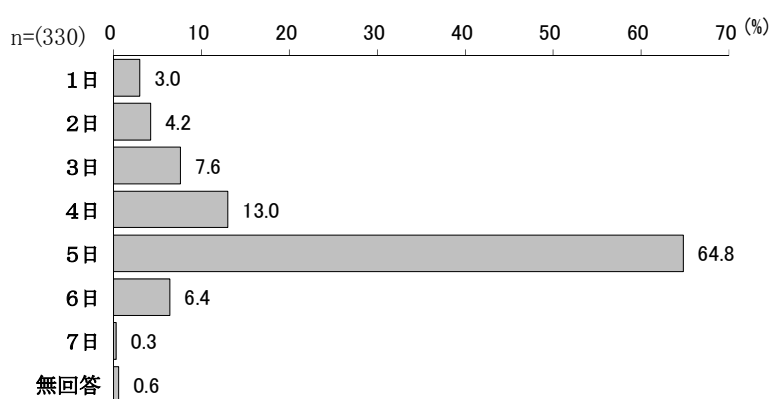
「就労している」と回答した母親にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産
休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

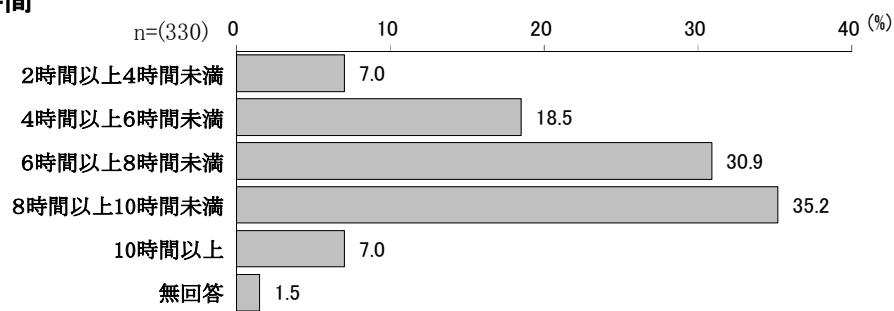
就労していると回答した母親の1週あたりの就労日数については、「5日」が64.8%と最も多くなっ
ています。

また、1日あたりの就労時間については、「8時間以上10時間未満」の35.2%と「6時間以上8時間
未満」の30.9%が特に多くなっています。

図表16 母親の就労日数



図表17 母親の就労時間

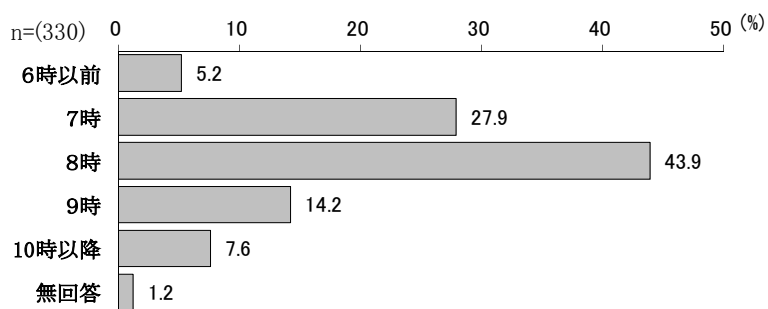


「就労している」と回答した母親にうかがいます。
 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

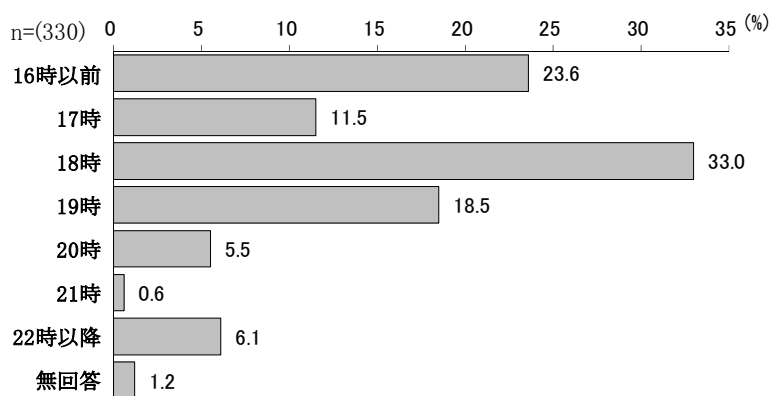
就労していると回答した母親の家を出る時刻については、「8時」の43.9%、「7時」の27.9%が特に多くなっています。

また、帰宅時刻については、「18時」（33.0%）、「16時以前」（23.6%）が特に多くなっています。

図表18 母親の出勤時間



図表19 母親の帰宅時間



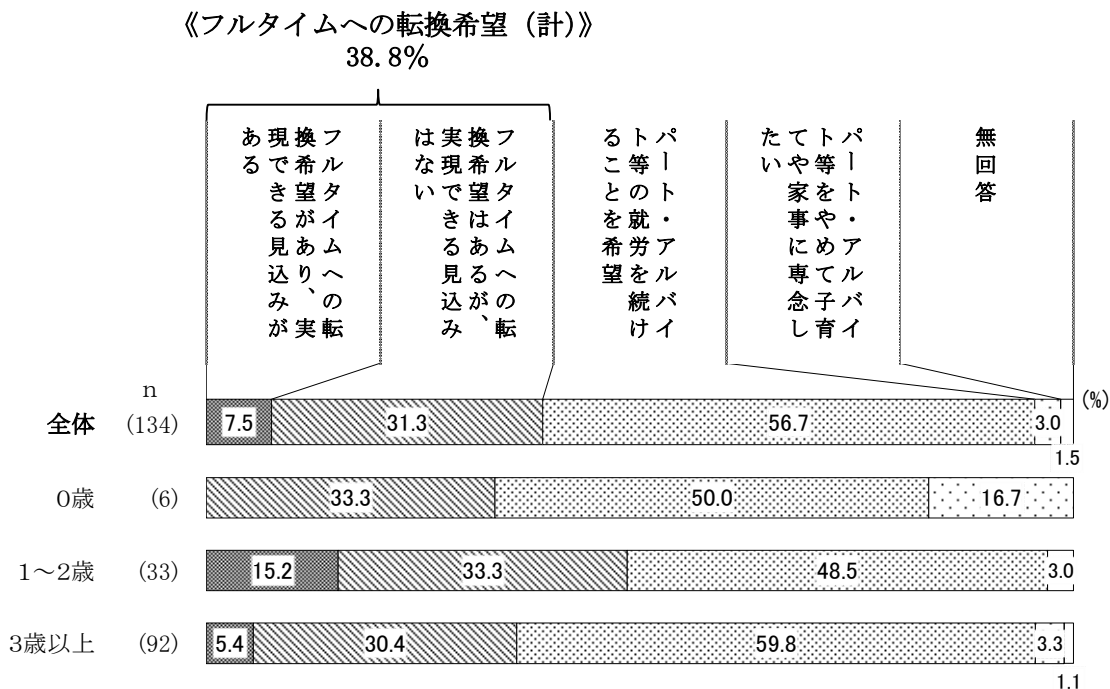
「パート・アルバイト等で就労している」と回答した母親にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

パートタイム、アルバイト等で就労している母親については、フルタイムへの転換希望（「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」含む）は38.8%となっています。

子どもの年齢別にみると、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は1～2歳では15.2%ですが、3歳以上では5.4%に減少しています。一方で子どもの年齢にかかわらず母親の3割以上が「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と回答しています。

また、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」は1歳以上では3%台です。

図表20 母親のフルタイムへの転換希望：子どもの年齢別



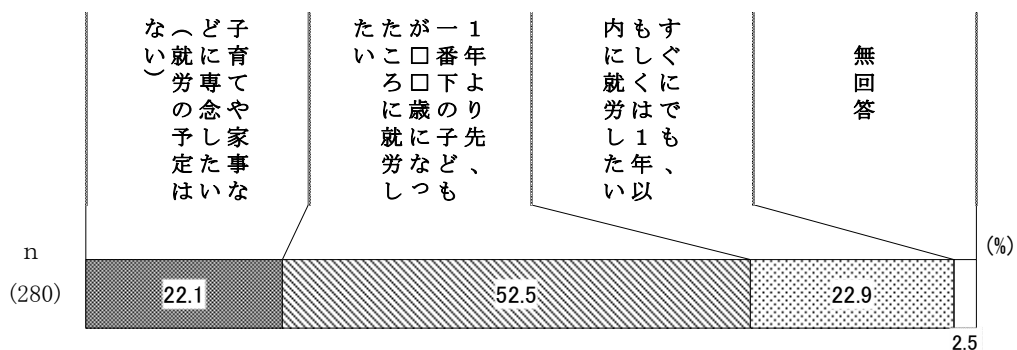
「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した母親にうかがいます。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

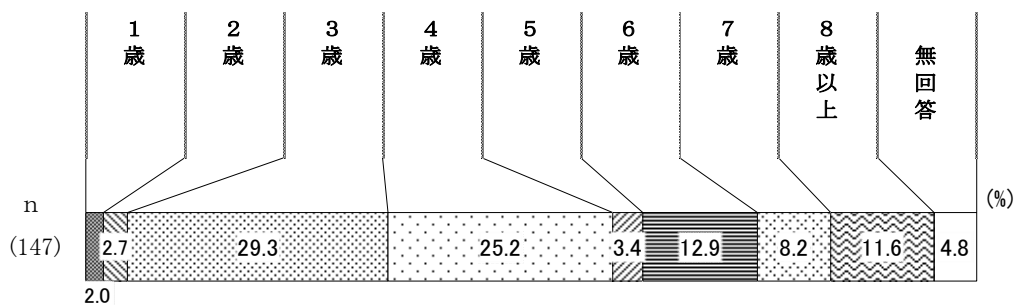
現在就労していない母親の就労希望について、就学前保護者の場合、「1年より先に就労したい」が52.5%で最も多くなっています。一方、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」は就学前保護者の場合で22.1%となっています。

前回の調査に比べて、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」割合は4.3ポイント増えています。

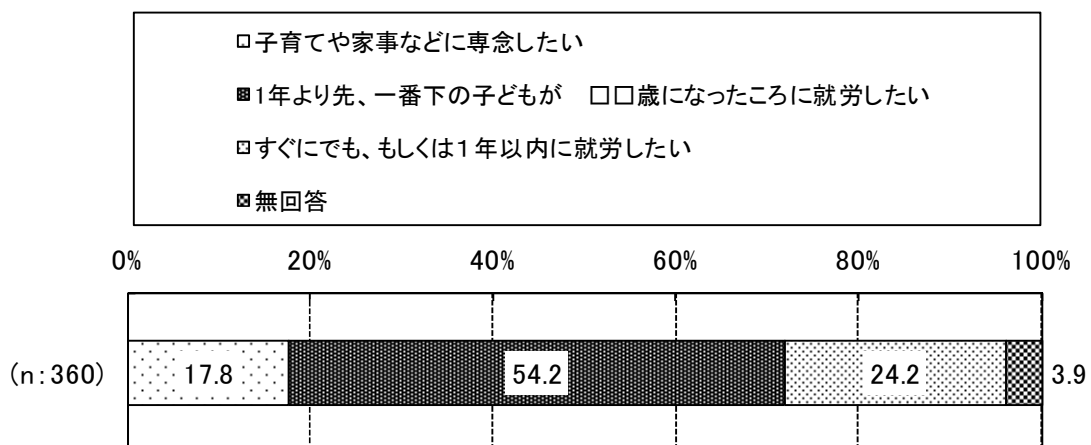
図表21 母親の就労希望



図表22 就労を希望する子どもの年齢



<参考> 前回 平成25年度調査（就学前保護者）

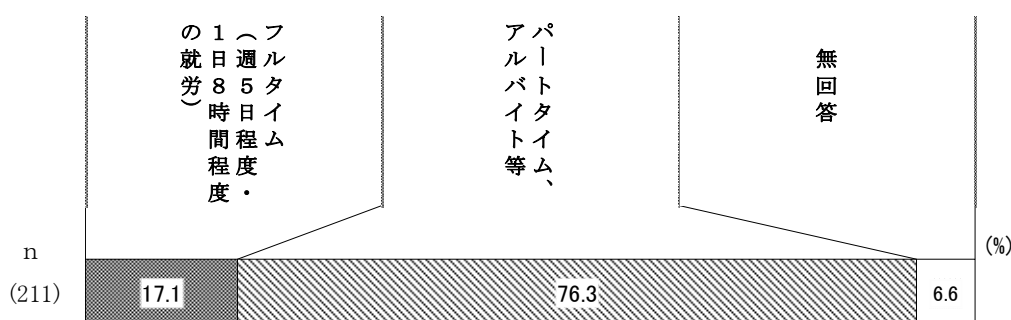


「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方

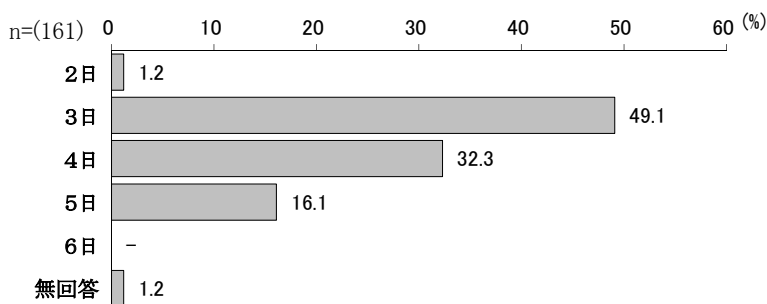
「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」または、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した母親の希望する就労形態では、「フルタイム」が17.1%、「パートタイム、アルバイト等」が76.3%となっています。

パートタイム、アルバイト等での就労を希望する者の1週間の就労希望日数は、「3日」が49.1%で最も多くなっています。また、1日あたりの就労時間の希望では、「4時間以上6時間未満」が72.0%で最も多くなっています。

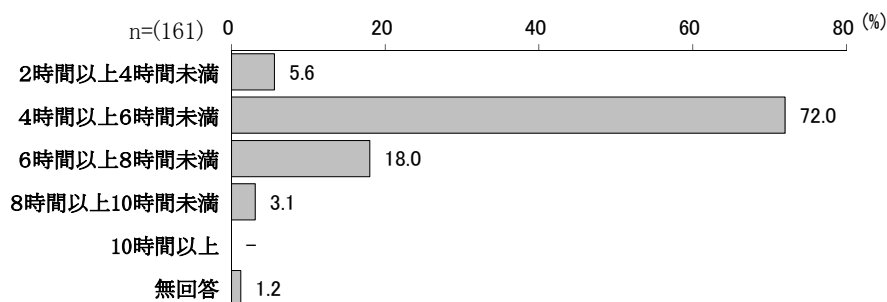
図表23 すぐに就労を希望している母親の希望する就労形態



図表24 母親の希望する1週当たりの就労日数



図表25 母親の希望する1日当たりの就労時間

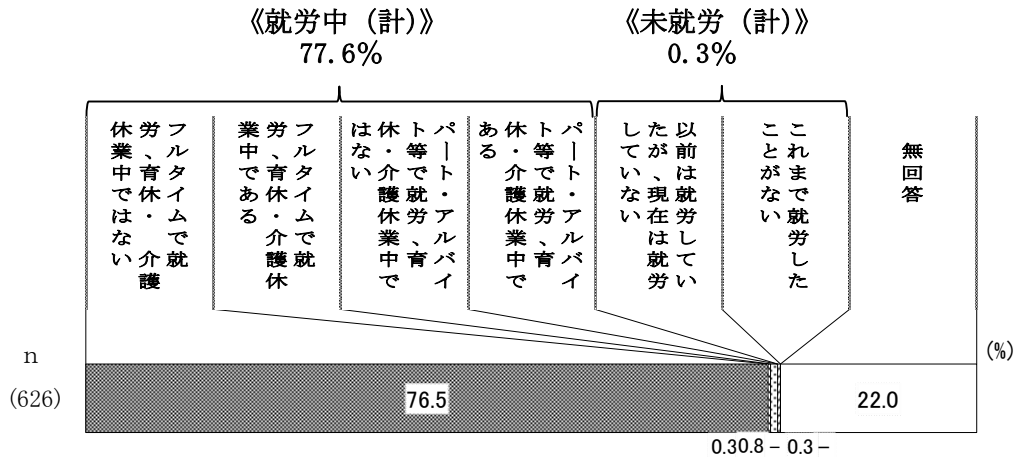


(2) 父親

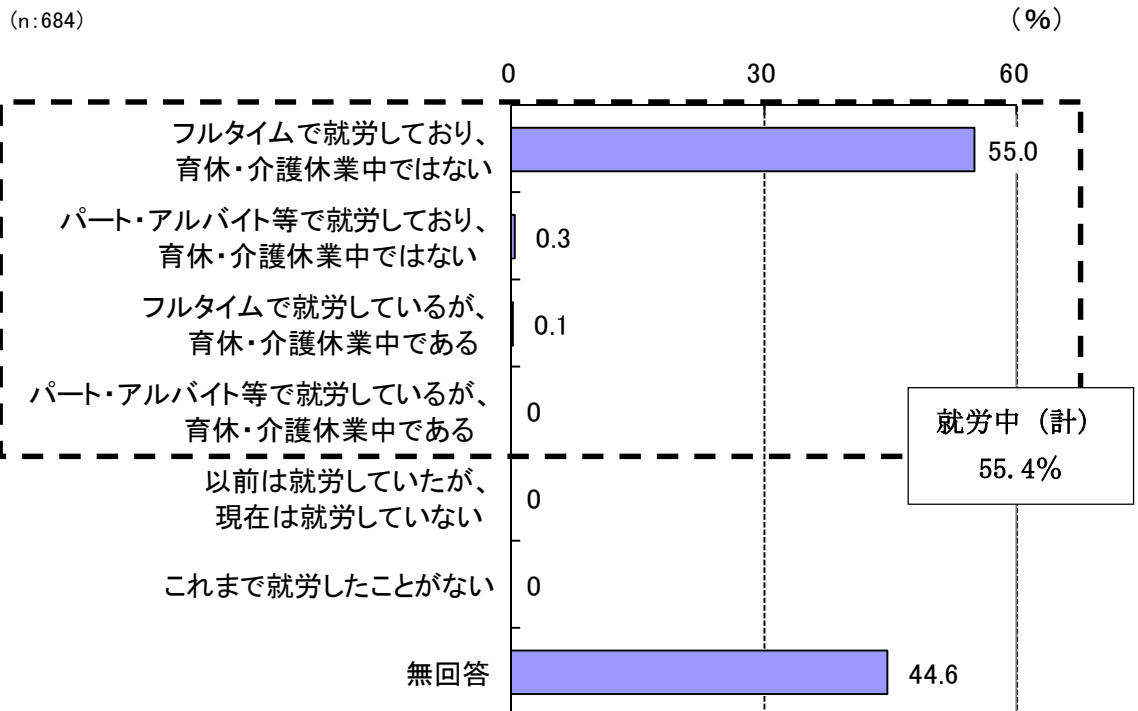
就労中（育休・介護休業中を含む）の父親は、77.6%となっています。

前回の調査に比べて、父親が《就労中（計）》の割合は22.2ポイント増えています。

図表26 父親の就労状況



<参考>前回 平成25年度調査（就学前保護者）



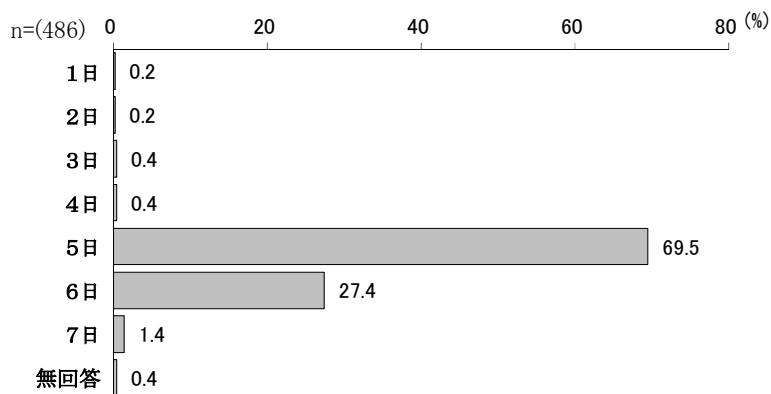
「就労している」と回答した父親にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育
休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

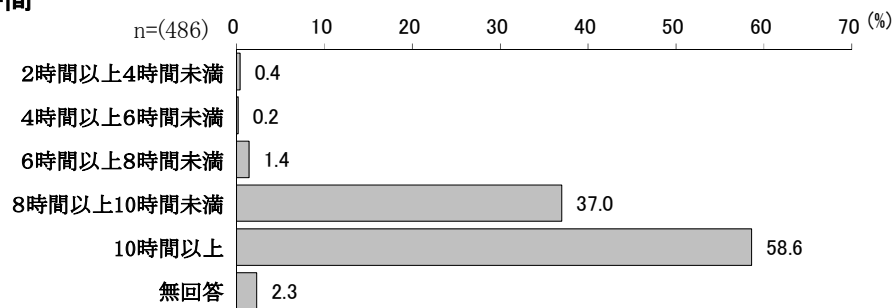
就労していると回答した母親の1週あたりの就労日数については、「5日」が69.5%と最も多くなっ
ています。

また、1日あたりの就労時間については、「10時間以上」が58.6%と最も多くなっています。

図表27 父親の就労日数



図表28 父親の就労時間



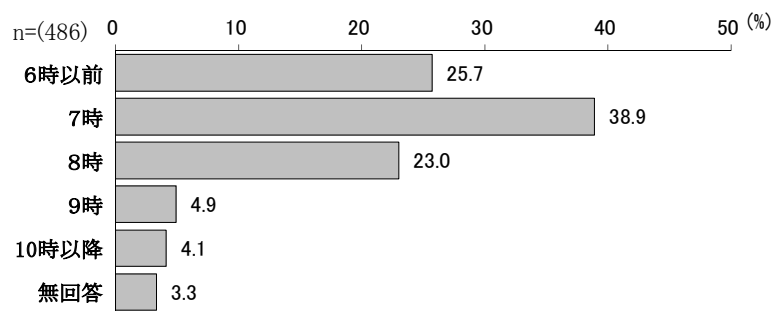
「就労している」と回答した父親にうかがいます。

家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

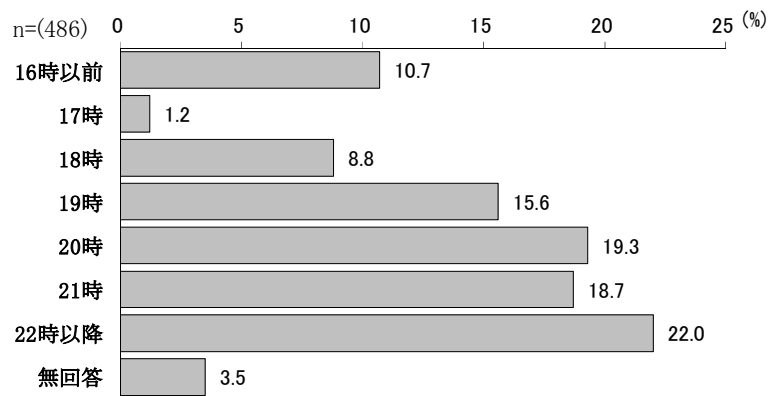
就労していると回答した父親の家を出る時刻については、「7時」の38.9%、「6時以前」の25.7%、「8時」の23.0%が特に多くなっています。

また、帰宅時刻については、「22時以降」の22.0%、「20時」の19.3%、「21時」の18.7%が多くなっています。

図表29 父親の出勤時間



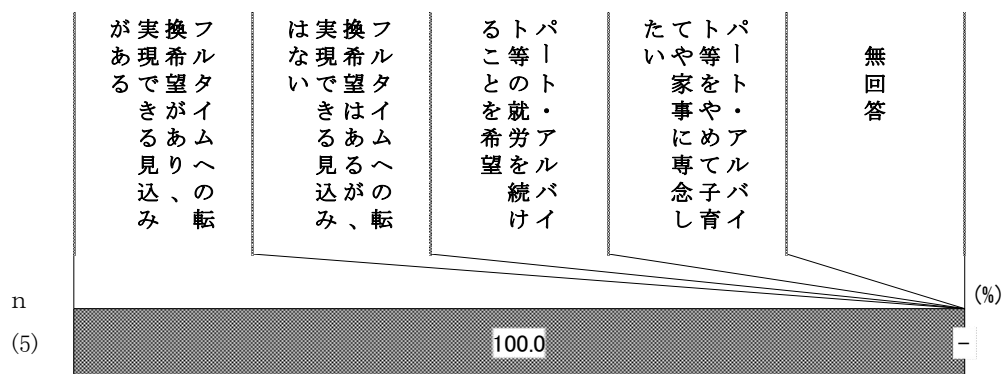
図表30 父親の帰宅時間



「パート・アルバイト等で就労している」と回答した父親にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

パートタイム、アルバイト等で就労している父親については、5名全員が「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と回答しています。

図表31 父親のフルタイムへの転換希望

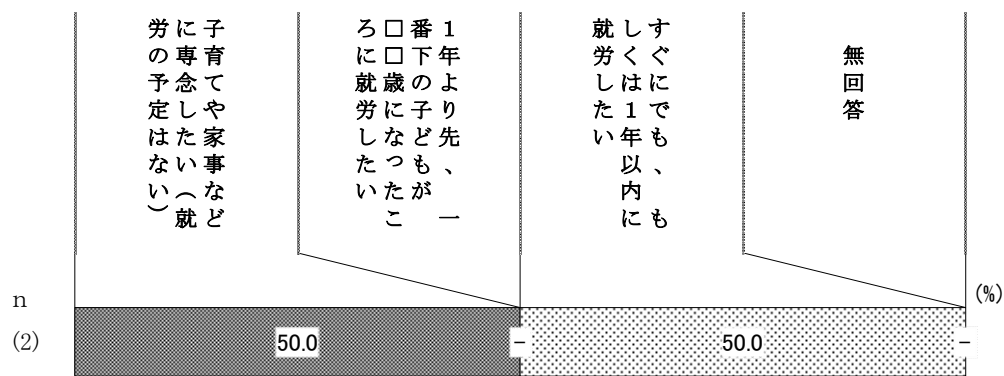


「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した父親にうかがいます。

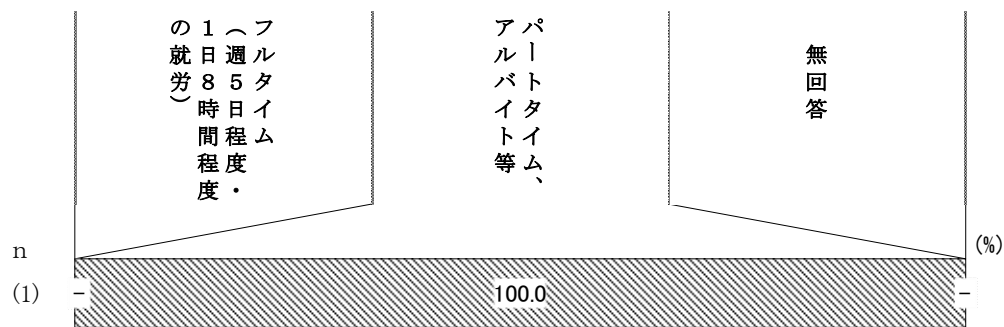
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、就労を希望する方は、希望する就労形態（ア・イ）どちらか1つに○をつけ、該当する日数や時間を数字でご記入ください。

現在就労していない父親の就労希望について、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」がそれぞれ1名となっています。

図表32 父親の就労希望



図表33 父親の希望する就労形態



父親の希望する1週当たりの就労日数

・回答なし

父親の希望する1日当たりの就労時間

・回答なし

5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問10 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などを「平日」「定期的」に利用されていますか。（例えば、毎週の平日5日間、毎月の平日6日間）当てはまる番号1つに○をつけてください。

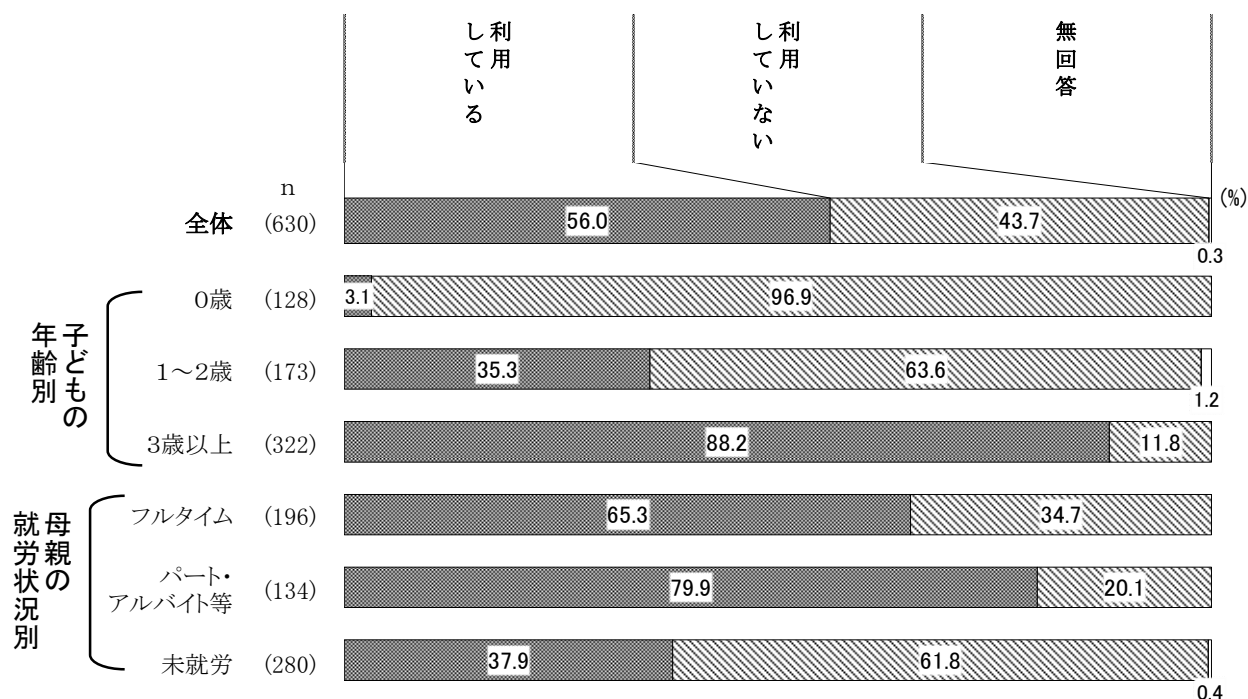
幼稚園や保育所などの平日の定期利用は56.0%となっています。

前回の調査に比べて、利用割合は4.5ポイント増えています。

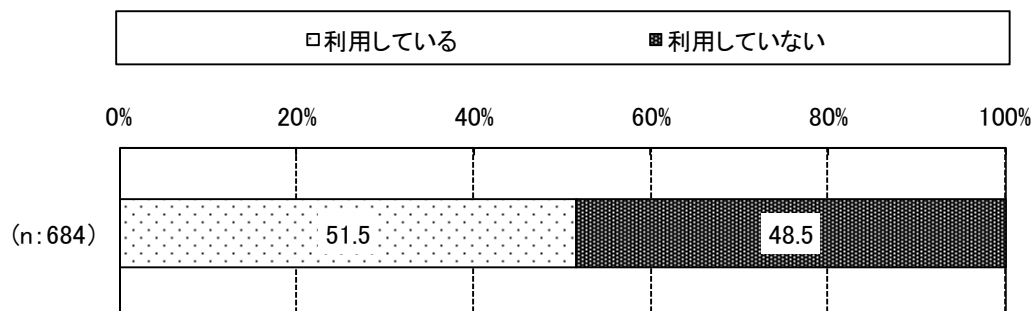
子どもの年齢別にみると、こどもの年齢が上がるにつれて利用割合が増えています。

母親の就労状況別にみると、「未就労」と比べて「フルタイム」「パート・アルバイト等」は利用割合が多くなっています。

図表34 幼稚園や保育所などの平日・定期的な利用の有無：子どもの年齢、母親の就労状況別



<参考> 前回 平成25年度調査（就学前保護者）



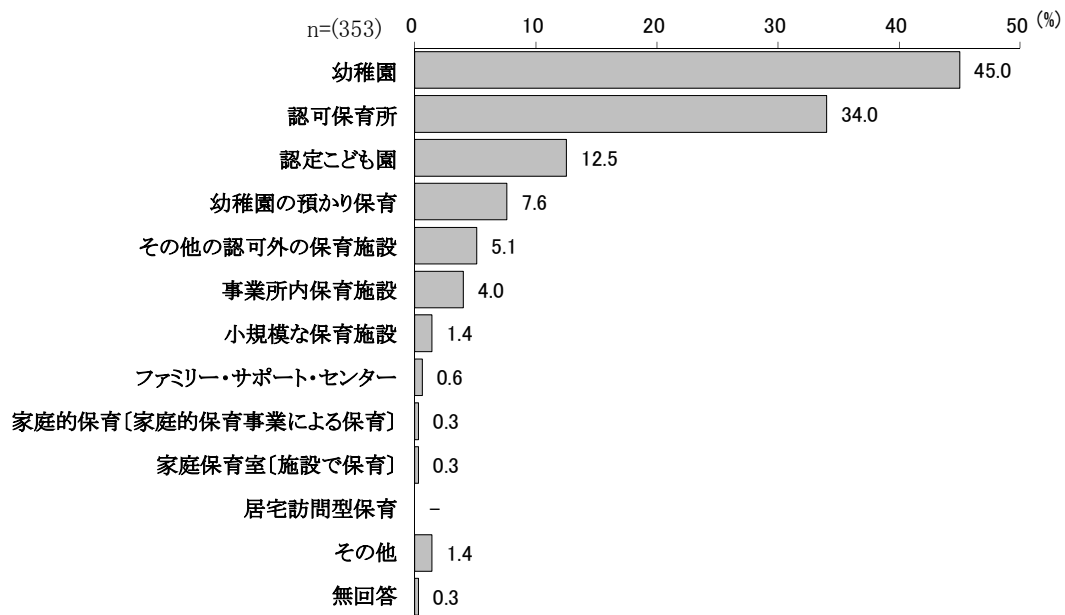
問10-1 問10で「利用している」と回答した方にうかがいます。

利用している教育・保育事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

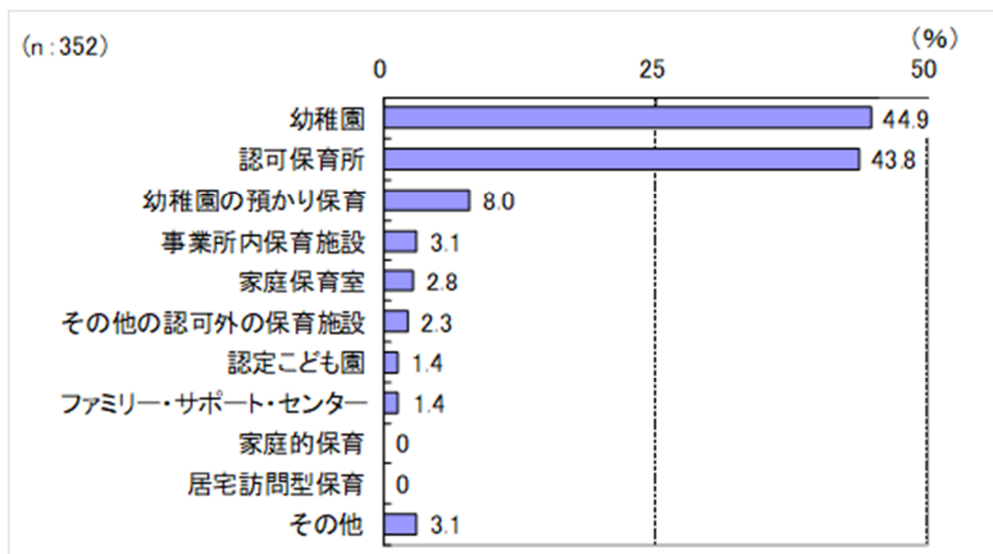
現在利用している幼稚園や保育所等の種類は、上位より「幼稚園」「認可保育所」「認定こども園」の順になっています。

前回の調査に比べて、上位3つでは「認定こども園」が7位から3位に順位をあげました。

図表35 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況（複数回答）



<参考> 前回 平成25年度調査（就学前保護者）（複数回答）



図表36 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況（複数回答）：子どもの年齢、母親の就労状況別

(単位 上段：件 下段：%)		調査数	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育（家庭的保育事業による保育）
全 体		353 100.0	159 45.0	27 7.6	120 34.0	44 12.5	5 1.4	1 0.3
子どもの年齢	0歳	4 100.0	- -	- -	2 50.0	- -	- -	1 25.0
	1～2歳	61 100.0	2 3.3	2 3.3	35 57.4	8 13.1	4 6.6	- -
	3歳以上	284 100.0	154 54.2	24 8.5	83 29.2	35 12.3	1 0.4	- -
母親の就労状況	フルタイム	128 100.0	9 7.0	6 4.7	86 67.2	14 10.9	3 2.3	1 0.8
	パート・アルバイト等	107 100.0	55 51.4	16 15.0	29 27.1	15 14.0	2 1.9	- -
	未就労	106 100.0	86 81.1	4 3.8	3 2.8	14 13.2	- -	- -

		事業所内保育施設	家庭保育室（施設で保育）	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全 体		14 4.0	1 0.3	18 5.1	- -	2 0.6	5 1.4	1 0.3
子どもの年齢	0歳	- -	- -	- -	- -	1 25.0	1 25.0	- -
	1～2歳	5 8.2	1 1.6	7 11.5	- -	- -	- -	- -
	3歳以上	9 3.2	- -	11 3.9	- -	- -	4 1.4	1 0.4
母親の就労状況	フルタイム	9 7.0	1 0.8	9 7.0	- -	1 0.8	1 0.8	- -
	パート・アルバイト等	5 4.7	- -	9 8.4	- -	1 0.9	- -	- -
	未就労	- -	- -	- -	- -	- -	4 3.8	- -

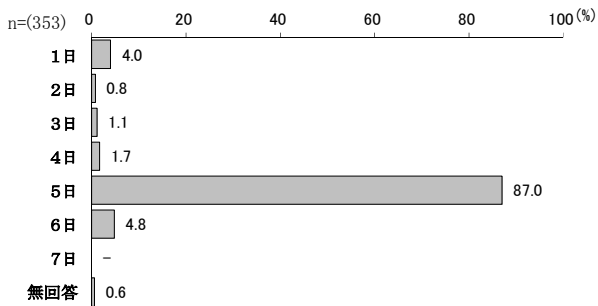
問 10-2 問 10 で「利用している」と回答した方にうかがいます。

問 10-1 で利用していると答えた事業をどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

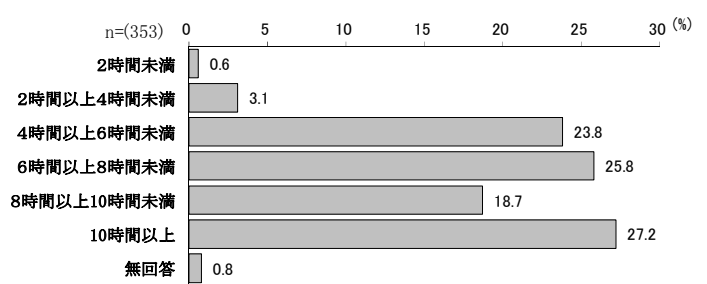
利用状況については、現在よりも長く、遅い時刻まで利用したいと希望する方が多くなっています。

図表37 現在の利用状況

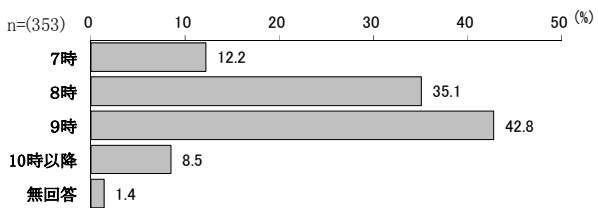
● 1 週あたりの利用日数



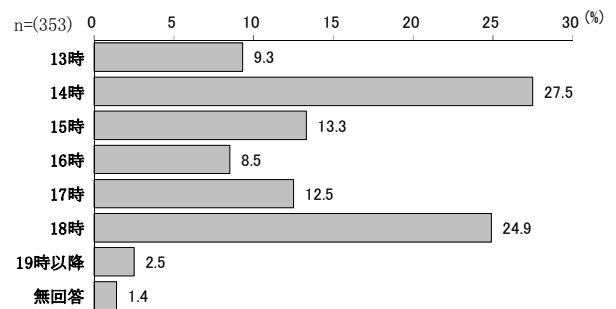
● 1 日当たりの利用時間



⇒ ● 開始時間

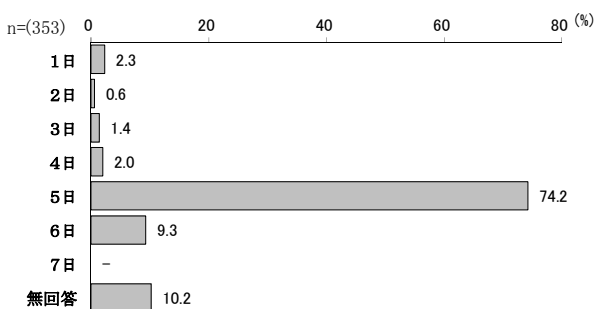


● 終了時間

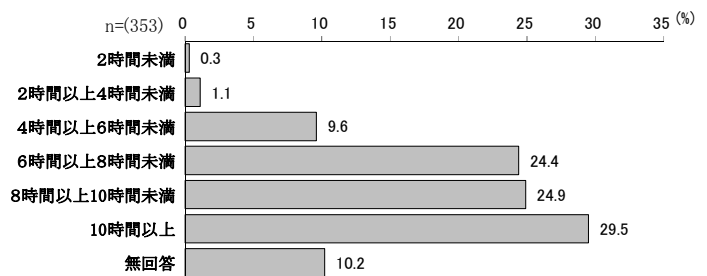


図表38 希望する利用状況

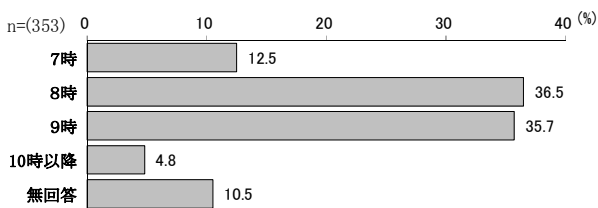
● 1 週あたりの利用日数



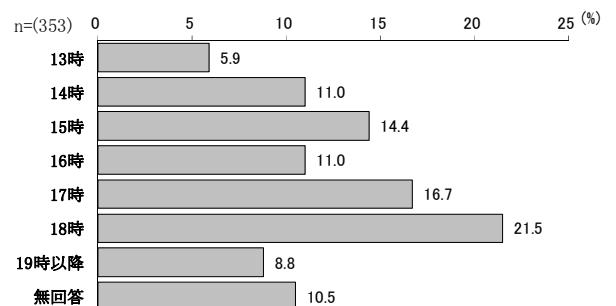
● 1 日当たりの利用時間



⇒ ● 開始時間



● 終了時間



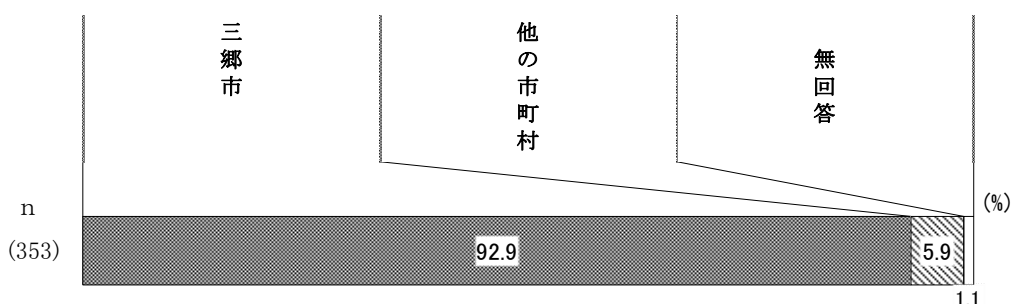
問10-3 問10で「利用している」と回答した方にうかがいます。

現在、利用している教育・保育事業（幼稚園や保育所など）の実施場所について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

実施場所は「三郷市」が92.9%となっています。

他の市町村では「川口市」、「越谷市」、「八潮市」、「吉川市」、「足立区」、「江戸川区」、「柏市」、「流山市」、「松戸市」、「水戸市」となっています。

図表39 現在、利用している教育・保育事業の実施場所

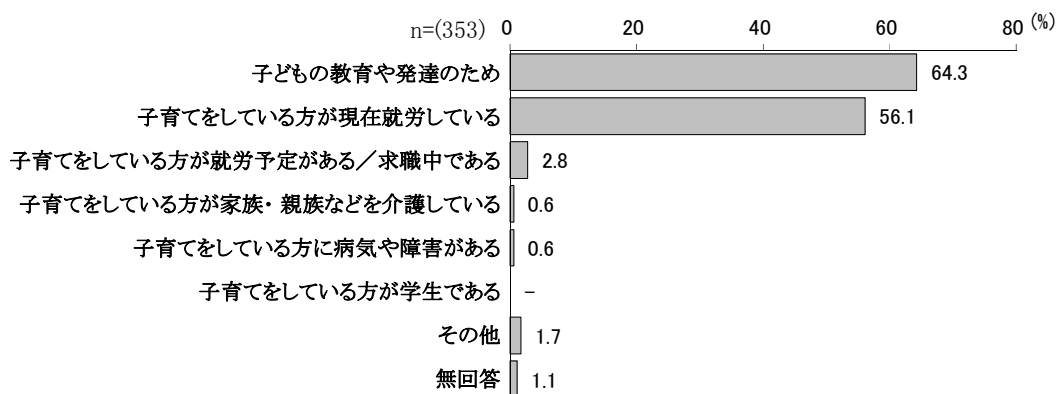


問10-4 問10で「利用している」と回答した方にうかがいます。

「平日」に「定期的」に利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由では「子どもの教育や発達のため」(64.3%)、「子育てをしている方が現在就労している」(56.1%)が主な理由となっています。

図表40 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由（複数回答）



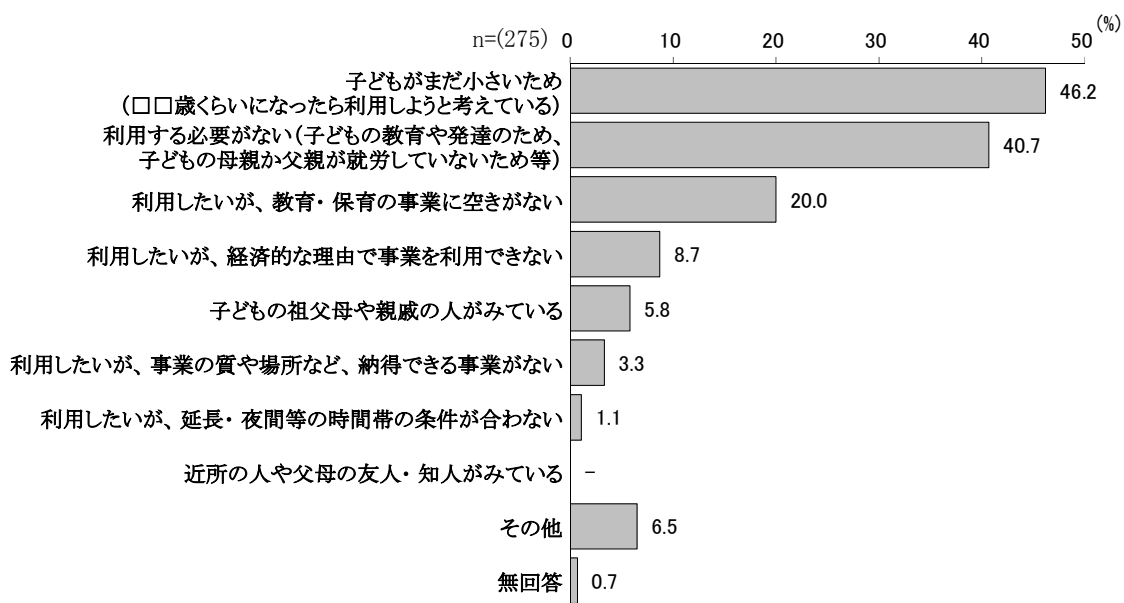
問 10-5 問 10 で「利用していない」と回答した方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

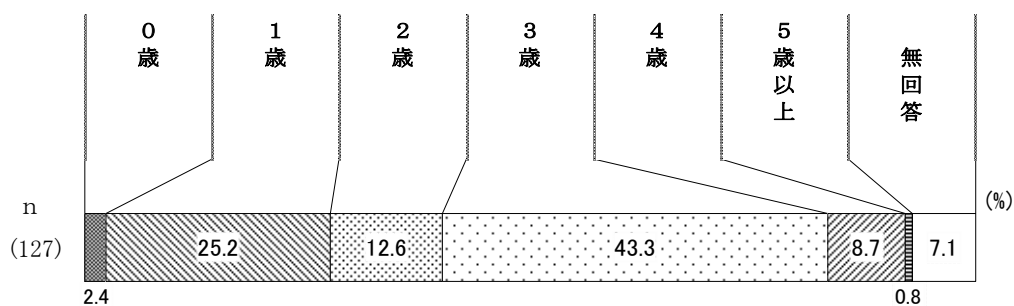
平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由では「子どもがまだ小さいため□□歳くらいになったら利用しようと考えている」（46.2%）、「利用する必要がある」（40.7%）が主な理由となっています。

利用したいと考えている子どもの年齢は、「3歳」が43.3%で最も多くなっています。

図表41 平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由（複数回答）



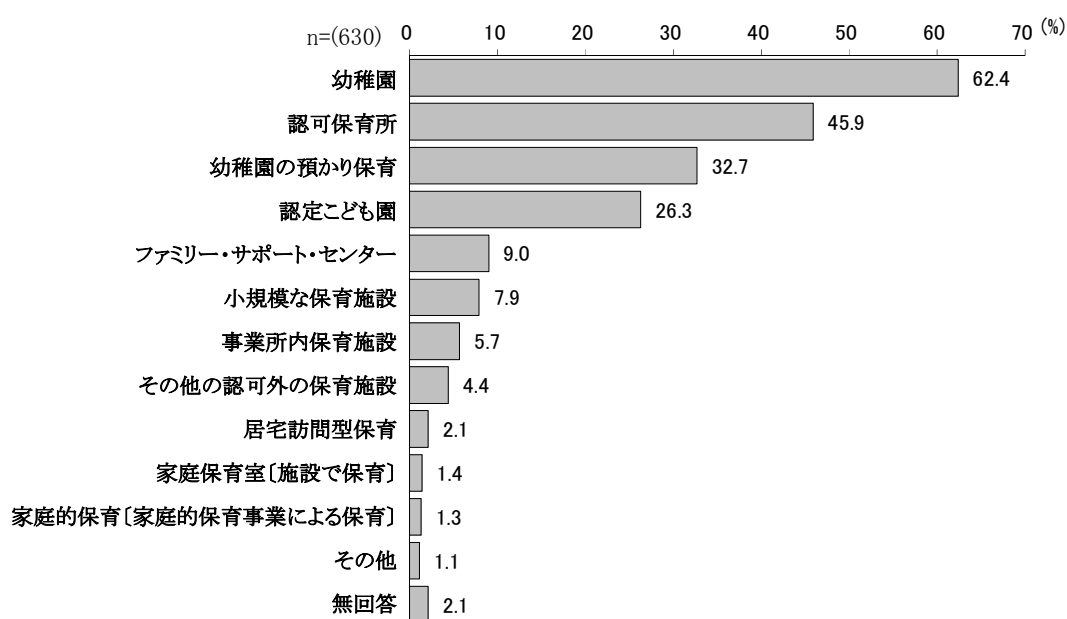
図表42 子どもがまだ小さいためと回答した方で、利用したいと考えている子どもの年齢



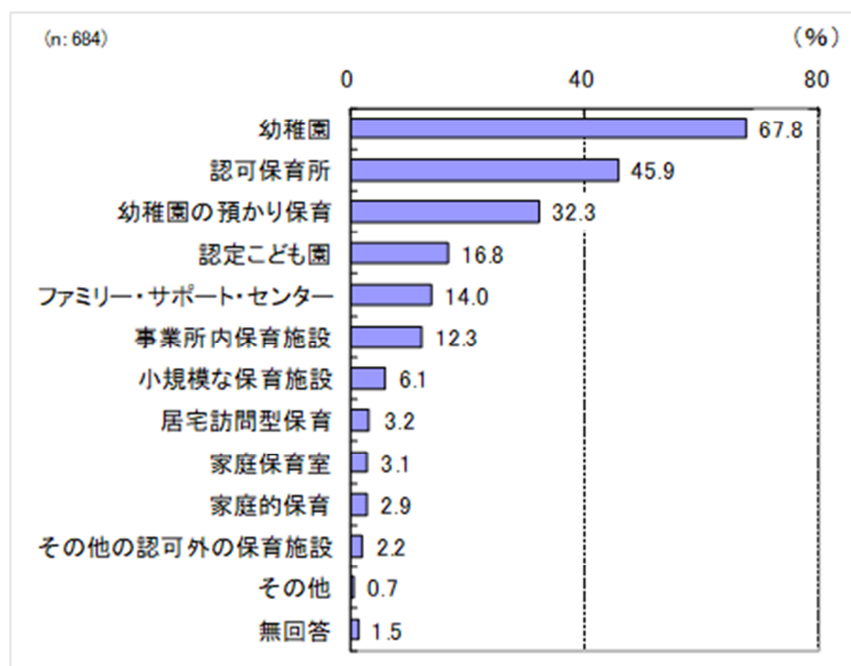
問11 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの「平日」「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。記載した料金は、特に断りがない場合は概ねの平均額となります。

平日・定期的に利用したいと考える事業は、上位より「幼稚園」「認可保育所」「幼稚園の預かり保育」「認定こども園」「ファミリー・サポート・センター」「小規模な保育施設」の順になっています。前回の調査に比べて、上位5つの順位に変動はありません。

図表43 平日・定期的に利用したい事業（複数回答）



<参考> 前回 平成25年度調査（就学前児童保護者）（複数回答）



図表44 平日・定期的に利用したい事業（複数回答）：子どもの年齢、母親の就労状況別

		調査数	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育（家庭的保育事業による保育）
(単位 上段：件 下段：%)								
全 体		630 100.0	393 62.4	206 32.7	289 45.9	166 26.3	50 7.9	8 1.3
子どもの年齢	0歳	128 100.0	70 54.7	28 21.9	81 63.3	46 35.9	23 18.0	3 2.3
	1～2歳	173 100.0	109 63.0	69 39.9	86 49.7	51 29.5	17 9.8	3 1.7
	3歳以上	322 100.0	210 65.2	107 33.2	120 37.3	67 20.8	10 3.1	2 0.6
母親の就労状況	フルタイム	196 100.0	50 25.5	40 20.4	167 85.2	52 26.5	21 10.7	3 1.5
	パート・アルバイト等	134 100.0	91 67.9	51 38.1	53 39.6	33 24.6	10 7.5	3 2.2
	未就労	280 100.0	236 84.3	108 38.6	64 22.9	77 27.5	19 6.8	2 0.7

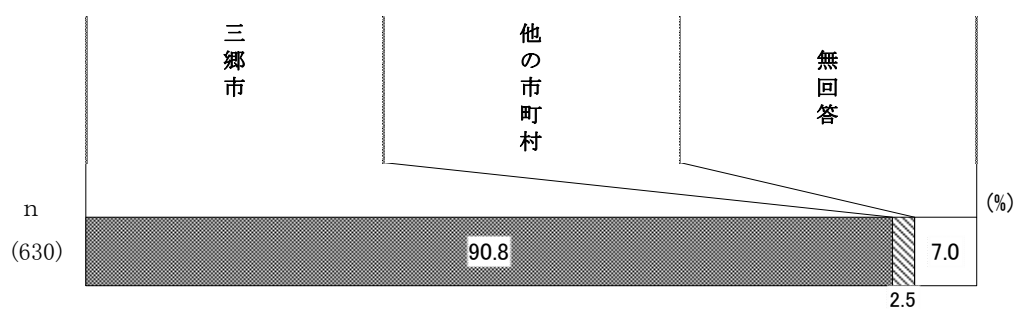
		事業所内保育施設	家庭保育室（施設で保育）	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全 体		36 5.7	9 1.4	28 4.4	13 2.1	57 9.0	7 1.1	13 2.1
子どもの年齢	0歳	13 10.2	4 3.1	7 5.5	2 1.6	14 10.9	1 0.8	2 1.6
	1～2歳	9 5.2	1 0.6	6 3.5	5 2.9	13 7.5	3 1.7	5 2.9
	3歳以上	14 4.3	4 1.2	15 4.7	6 1.9	29 9.0	3 0.9	6 1.9
母親の就労状況	フルタイム	15 7.7	4 2.0	12 6.1	8 4.1	27 13.8	1 0.5	1 0.5
	パート・アルバイト等	8 6.0	2 1.5	10 7.5	1 0.7	13 9.7	1 0.7	2 1.5
	未就労	13 4.6	3 1.1	6 2.1	3 1.1	16 5.7	5 1.8	9 3.2

問 11-1 問 11 の定期的に利用したいと考える事業について、利用したい場所をお答えください。

教育・保育事業を利用したい場所についてたずねたところ、「三郷市」が90.8%となっています。

他の市町村では「川口市」、「八潮市」、「吉川市」、「足立区」、「葛飾区」、「柏市」、「流山市」、「松戸市」、「水戸市」となっています。

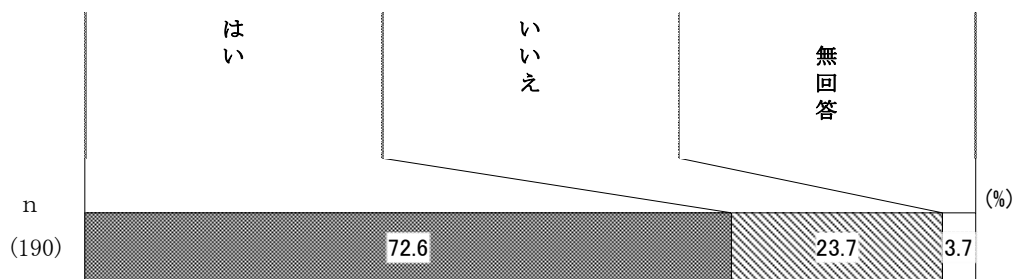
図表45 教育・保育事業を利用したい場所



問 11-2 問 11 で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ他の事業にも○をつけた方にうかがいます。
特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。

「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」を利用し、かつそれ以外のサービスも利用したい方（190人）について、特に幼稚園の利用を強く希望する割合は72.6%となっています。

図表46 幼稚園利用の強い希望



【参考】国の資料「第二期市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等の考え方」（平成30年8月24日）

7 共働き等家庭の子どもの幼稚園利用について（P33）

共働き等家庭の子どもの幼稚園利用について、正確にニーズを把握することを目的として、「調査票のイメージ」に問 16-2 を追加すること。ただし、既に調査を実施している市町村においては、追加調査を依頼するものではない。

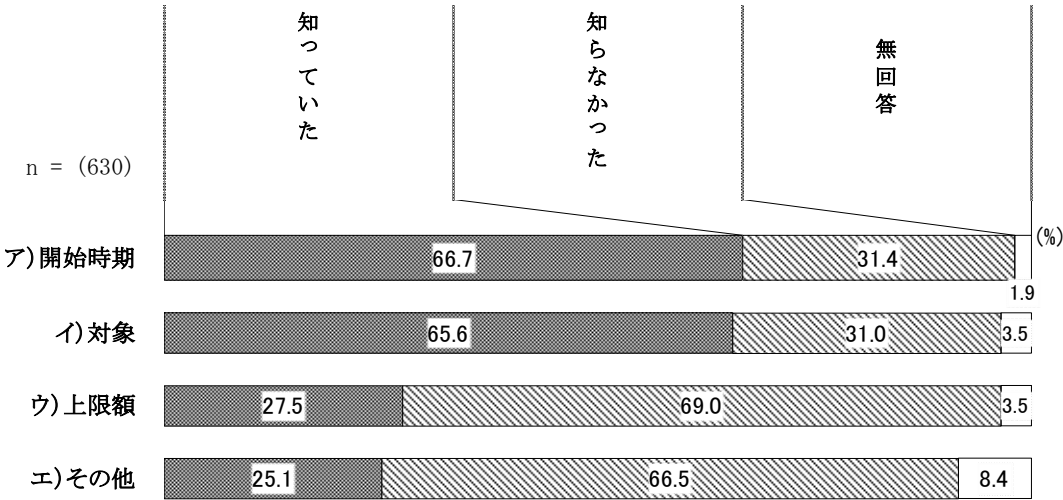
なお、幼稚園における預かり保育等の取扱いについての量の見込みの算出・確保方策の考え方については、後日別途示す予定である。

問 16-2 問 16 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～12にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。
1. はい 2. いいえ

問 12 幼児教育・保育の保育料が無償化されることを知っていましたか。ア)～エ)について、それぞれ当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

幼児教育・保育の保育料が無償化されることの認知状況について、ア) 開始時期とイ) 対象は 6 割以上の方が認知していますが、ウ) 上限額やエ) その他（【参考】は 3 割に満たない状況です。

図表47 幼児教育・保育の保育料の無償化に関する認知



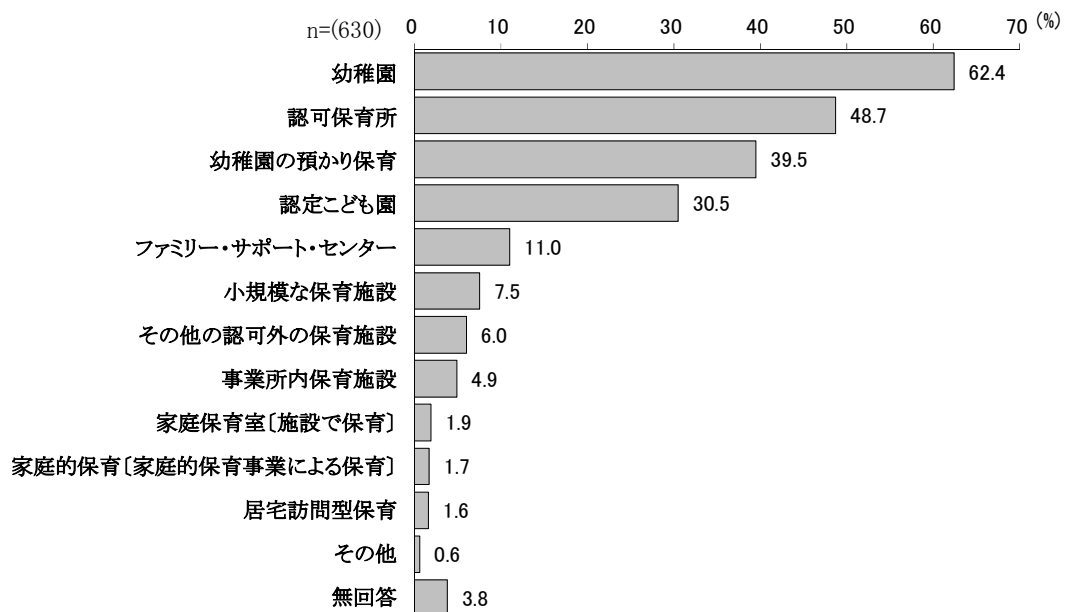
【参考】保育料の無償化の内容

開始時期	2019年10月から	
対象	・0～2歳児クラスは、住民税非課税世帯のみが無償化の対象 ・3～5歳児クラスは、全ての世帯が無償化の対象	
上限額	幼稚園	25,700円／月まで （入園料・実費徴収分は対象外）
	幼稚園の預かり保育	11,300円／月まで
	認可保育所 0～2歳児クラス（住民税非課税世帯のみ）	全額 （実費徴収分は対象外）
	認可保育所 3～5歳児クラス（全ての世帯）	全額 （実費徴収分は対象外）
	認可外の保育施設 0～2歳児クラス（住民税非課税世帯のみ）	42,000円／月まで
	認可外の保育施設 3～5歳児クラス（全ての世帯）	37,000円／月まで
その他	・幼稚園の預かり保育の無償化は、保育の必要性（就労など）に該当する世帯に限定される。 ・認可外の保育施設の無償化は、保育の必要性（就労など）に該当する世帯に限定される。	

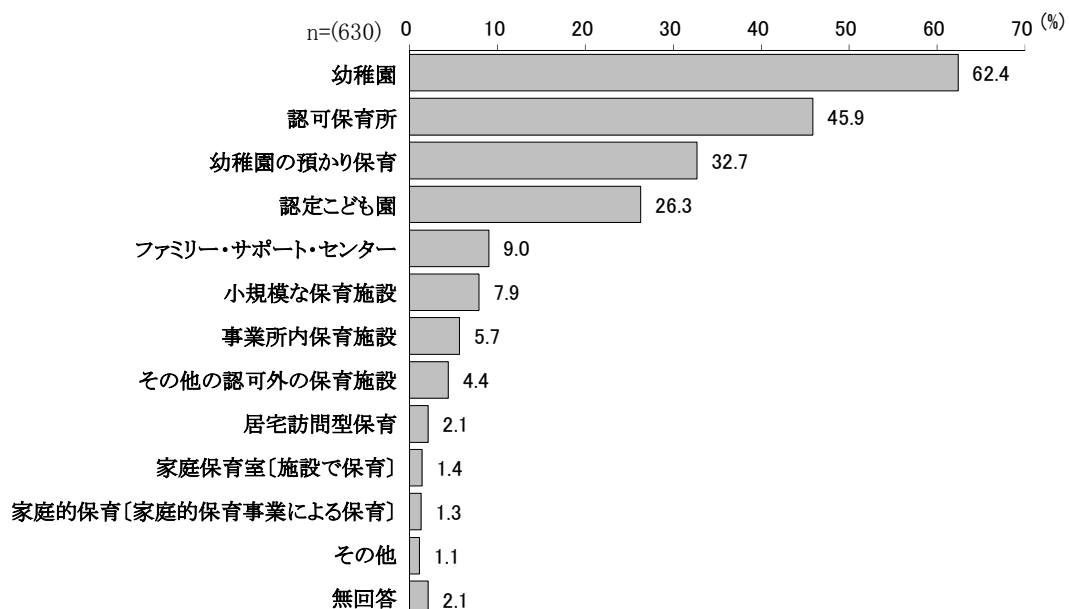
問13 幼児教育・保育の無償化を踏まえた上で、すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの「平日」「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、無償化が開始されても、利用者負担として、無償化の上限額との差額が発生する場合があります。

幼児教育・保育の無償化を踏まえた上での利用希望は、上位より「幼稚園」「認可保育所」「幼稚園の預かり保育」「認定こども園」「ファミリー・サポート・センター」「小規模な保育施設」の順となっており、単なる利用希望（42頁参照）と比べて、上位6つの順位に変動はありません。ただし、その割合は「認可保育所」「幼稚園の預かり保育」「認定こども園」「ファミリー・サポート・センター」とも増えています。

図表48 幼児教育・保育の無償化を踏まえた上で平日・定期的に利用したい事業（複数回答）



図表49 平日・定期的に利用したい事業（複数回答）【再掲】



図表50 幼児教育・保育の無償化を踏まえた上で平日・定期的に利用したい事業（複数回答）
：子どもの年齢、母親の就労状況別

(単位 上段:件 下段:%)		調査数	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育(家庭的保育事業による保育)
全 体		630 100.0	393 62.4	249 39.5	307 48.7	192 30.5	47 7.5	11 1.7
子どもの年齢	0歳	128 100.0	68 53.1	44 34.4	85 66.4	55 43.0	23 18.0	7 5.5
	1～2歳	173 100.0	111 64.2	77 44.5	92 53.2	56 32.4	15 8.7	2 1.2
	3歳以上	322 100.0	211 65.5	126 39.1	127 39.4	79 24.5	9 2.8	2 0.6
母親の就労状況	フルタイム	196 100.0	58 29.6	47 24.0	163 83.2	58 29.6	19 9.7	1 0.5
	パート・アルバイト等	134 100.0	89 66.4	58 43.3	55 41.0	39 29.1	6 4.5	3 2.2
	未就労	280 100.0	230 82.1	136 48.6	82 29.3	91 32.5	22 7.9	7 2.5

(単位 上段:件 下段:%)		事業所内保育施設	家庭保育室(施設で保育)	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全 体		31 4.9	12 1.9	38 6.0	10 1.6	69 11.0	4 0.6	24 3.8
子どもの年齢	0歳	8 6.3	8 6.3	11 8.6	4 3.1	19 14.8	－ －	7 5.5
	1～2歳	8 4.6	1 0.6	9 5.2	5 2.9	18 10.4	1 0.6	8 4.6
	3歳以上	15 4.7	3 0.9	18 5.6	1 0.3	31 9.6	3 0.9	8 2.5
母親の就労状況	フルタイム	10 5.1	3 1.5	14 7.1	5 2.6	28 14.3	2 1.0	6 3.1
	パート・アルバイト等	7 5.2	2 1.5	9 6.7	－ －	10 7.5	－ －	3 2.2
	未就労	14 5.0	7 2.5	15 5.4	5 1.8	29 10.4	2 0.7	14 5.0

6. 地域の子育て支援事業の利用状況について

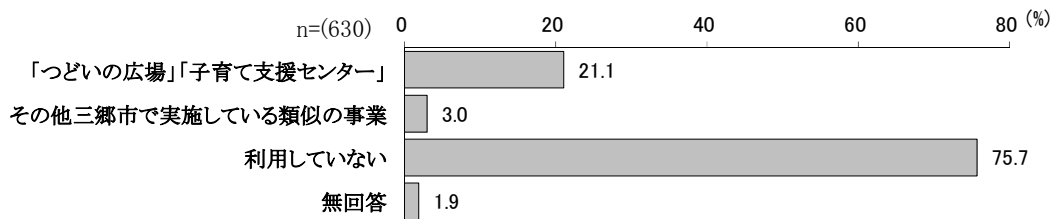
問14 宛名のお子さんは、現在、「つどいの広場（こあらサロン、ひよこサロンなど）」「子育て支援センター」（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけて、数字でご記入ください。

地域の子育て支援事業の利用状況は「つどいの広場」「子育て支援センター」が21.1%、「類似の事業」が3.0%となっています。

「地域子育て支援拠点事業」の1か月あたりの利用回数では「月1から4回」が最も多くなっています。

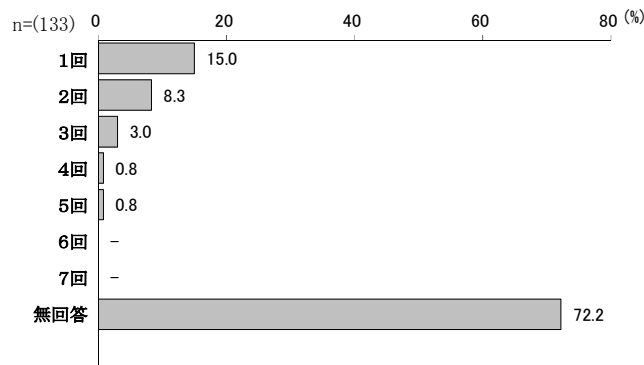
「類似の事業」においても「月1から4回」が多くなっています

図表51 地域の子育て支援拠点事業の利用状況

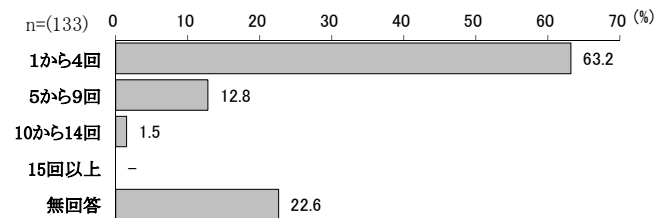


図表52 「つどいの広場」「子育て支援センター」等の利用状況

● 1週あたりの利用回数

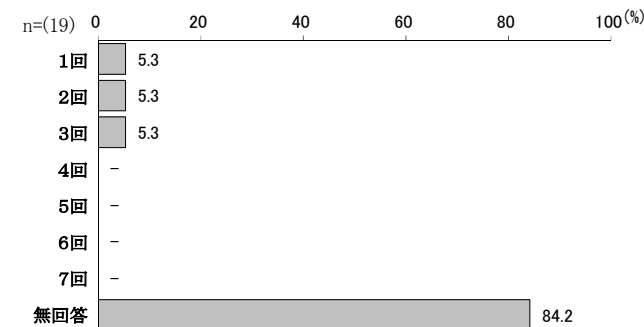


● 1か月あたりの利用回数

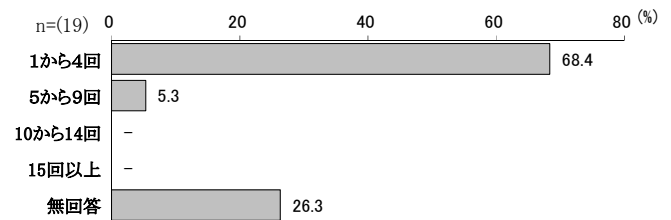


図表53 その他三郷市で実施している類似の事業の利用状況

● 1週あたりの利用回数



● 1か月あたりの利用回数



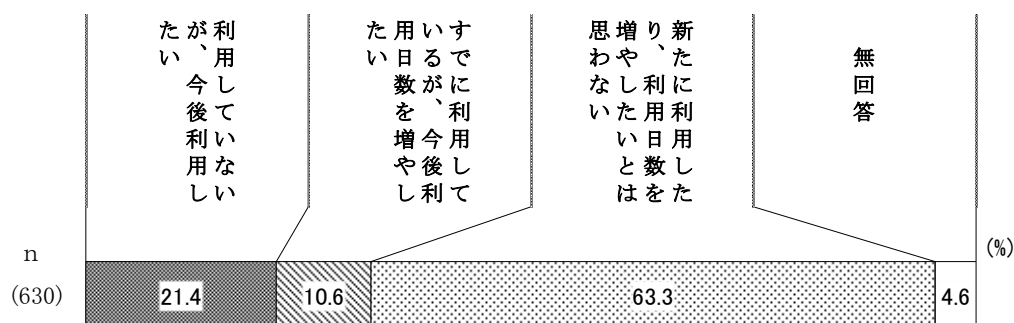
問15 「つどいの広場」「子育て支援センター」について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号一つに○をつけて、数字でご記入ください。

地域の子育て支援事業の今後の利用意向では「利用していないが、今後利用したい」が21.4%、となっています。

「利用していないが、今後利用したい」人は「週1回」が34.1%で最も多くなっています。

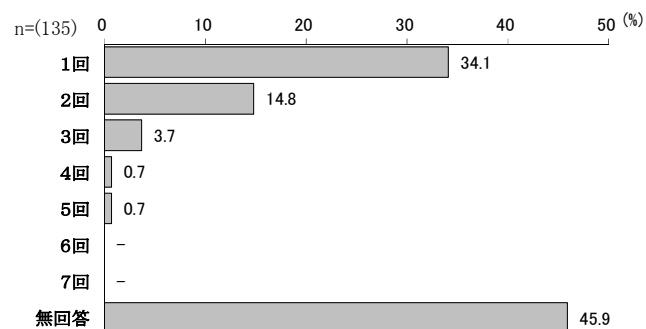
「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人は「週1回」が31.3%で最も多くなっています。

図表54 地域の子育て支援拠点事業の今後の利用希望

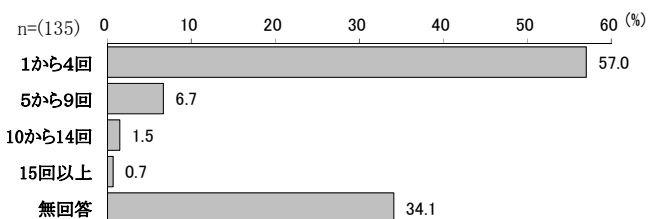


図表55 利用していないが、今後利用したい

● 1週あたりの利用回数

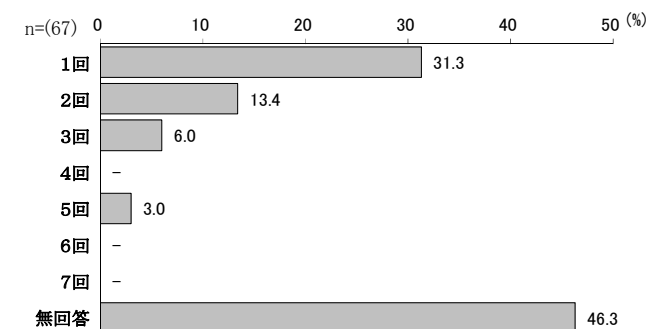


● 1か月あたりの利用回数

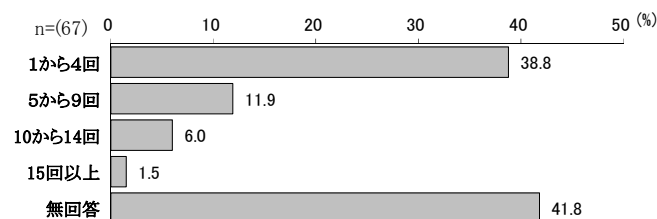


図表56 すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

● 1週あたりの利用回数



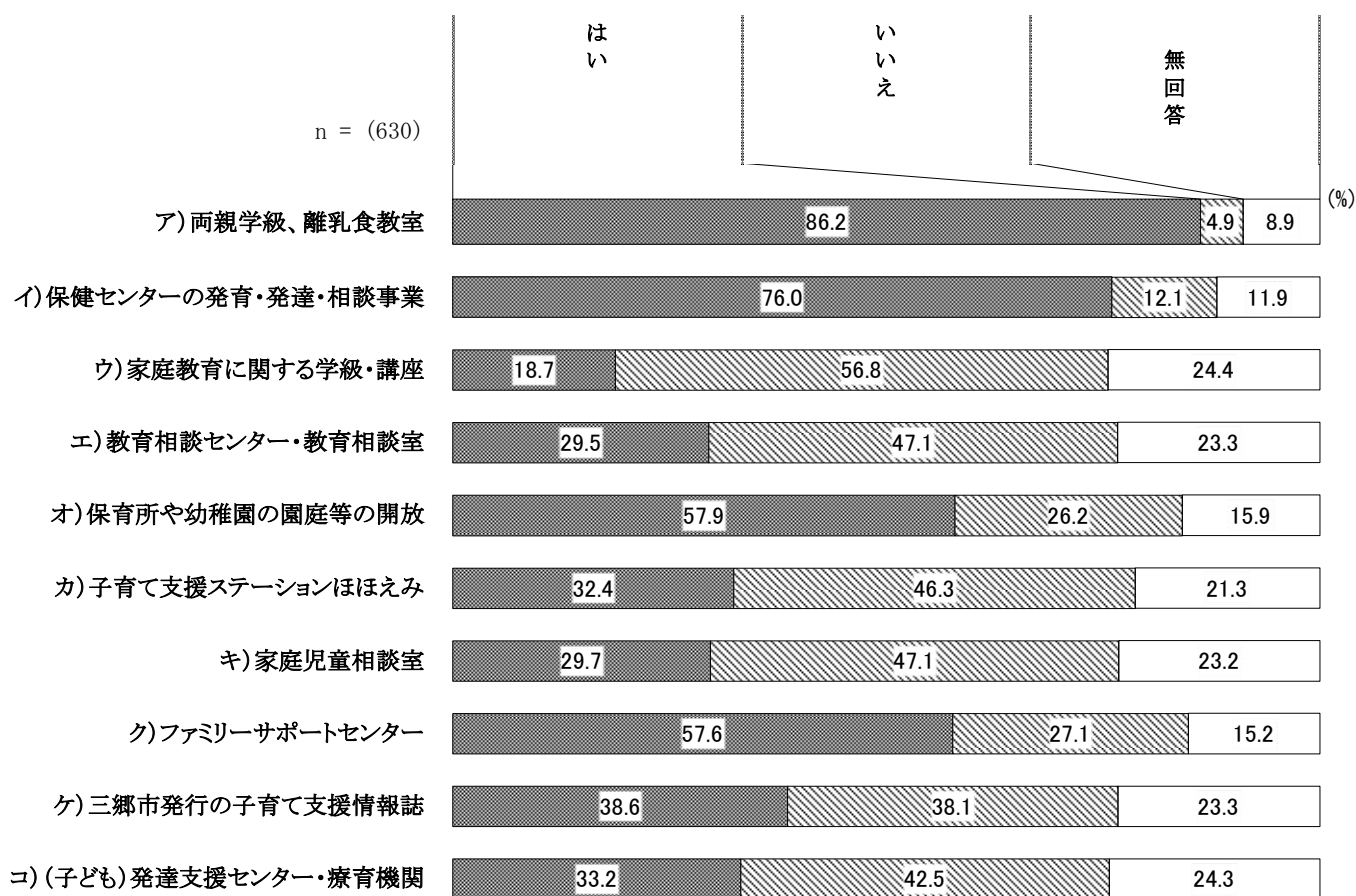
● 1か月あたりの利用回数



問 16 以下の事業ごとに、【認知度】【利用経験】【利用意向】について、それぞれ「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

子育て支援事業の認知度では「ア 両親学級、離乳食教室」（86.2%）、「イ 保健センターの発育・発達・相談事業」（76.0%）、「オ 保育所や幼稚園の園庭等の開放」（57.9%）、「ク ファミリーサポートセンター」（57.9%）が他の事業と比較して高くなっています。

図表57 子育て支援事業の認知度

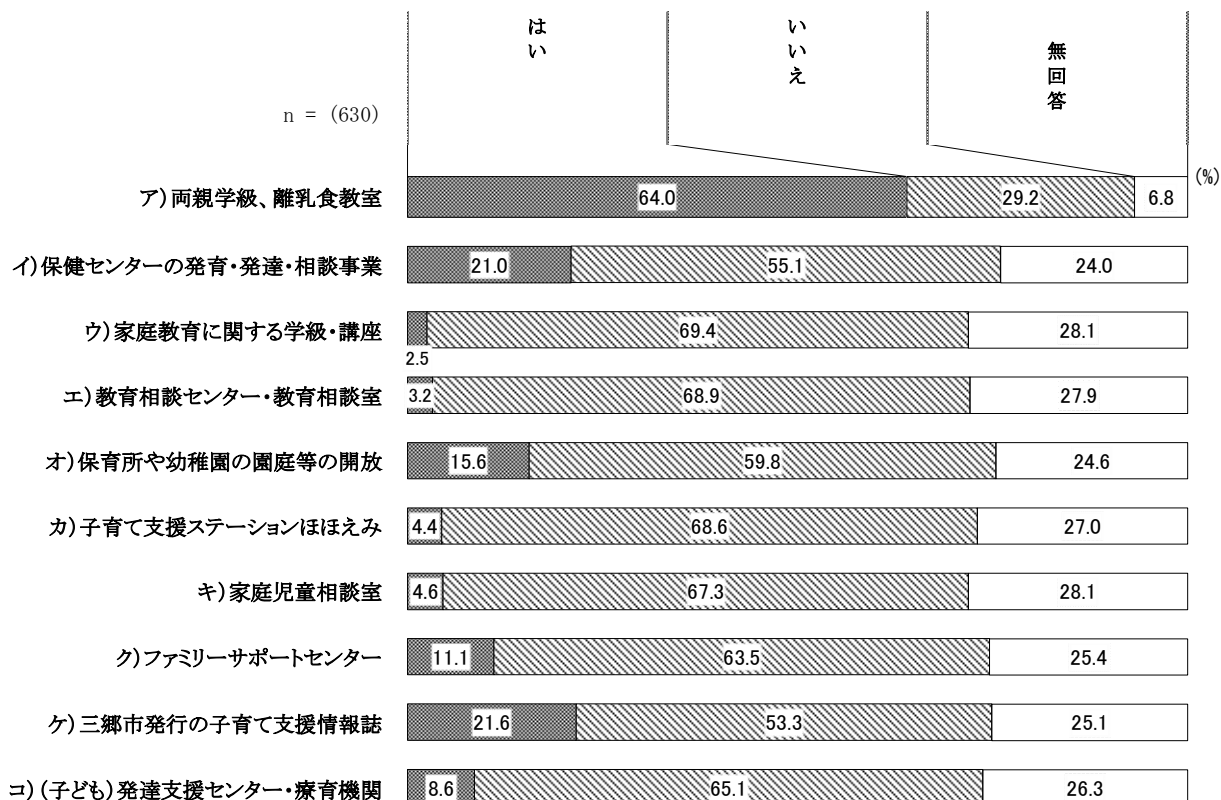


第2章 調査結果（就学前児童保護者）

子育て支援事業の利用状況では「ア 両親学級、離乳食教室」が64.0%で唯一過半数となっています。

また、「ウ 家庭教育に関する学級・講座」、「エ 教育相談センター・教育相談室」、「カ 子育て支援ステーションほほえみ」、「キ 家庭児童相談室の総合相談窓口」の利用状況が5%以下となっています。

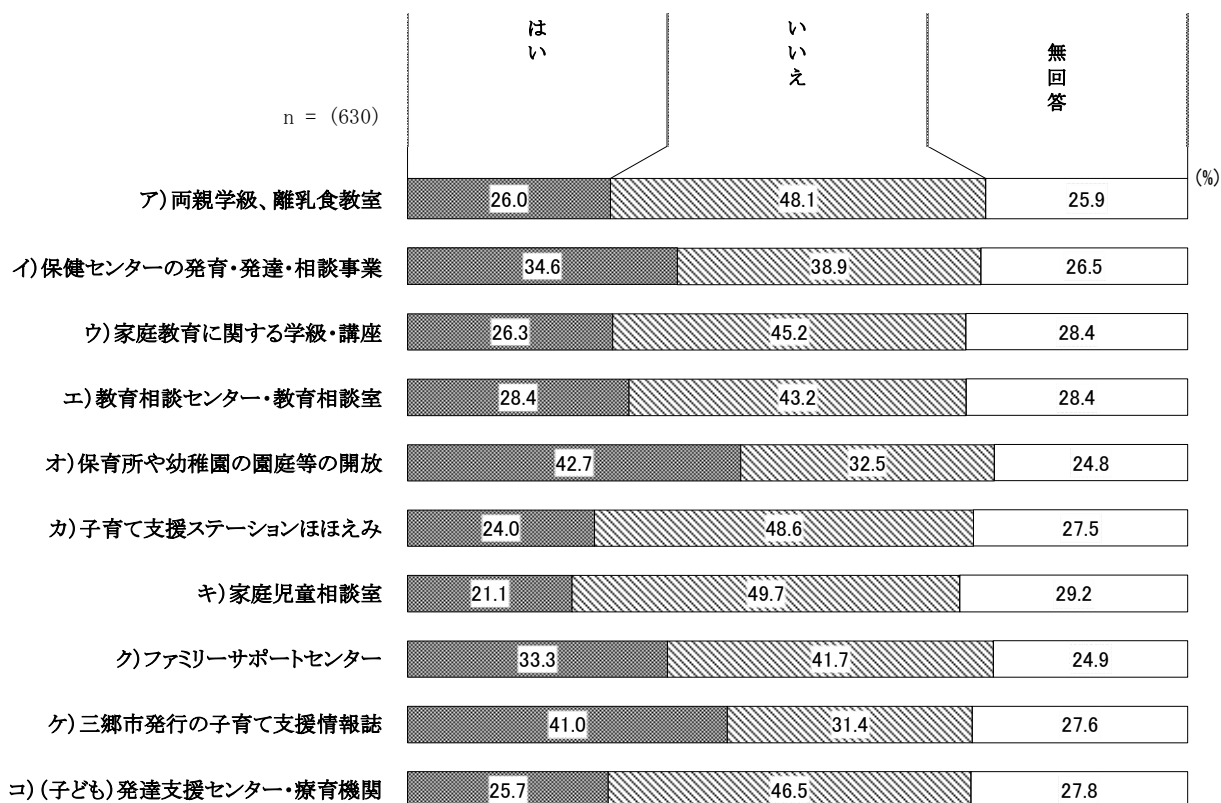
図表58 子育て支援事業の利用経験



子育て支援事業の利用意向では「オ 保育所や幼稚園の園庭等の開放」が42.7%、「ケ 三郷市発行の子育て支援情報誌」が41.0%で40%以上となっています。

また、利用経験（52ページ参照）と比べて、両親学級、離乳食教室の利用意向は低くなっています。

図表59 子育て支援事業の利用意向

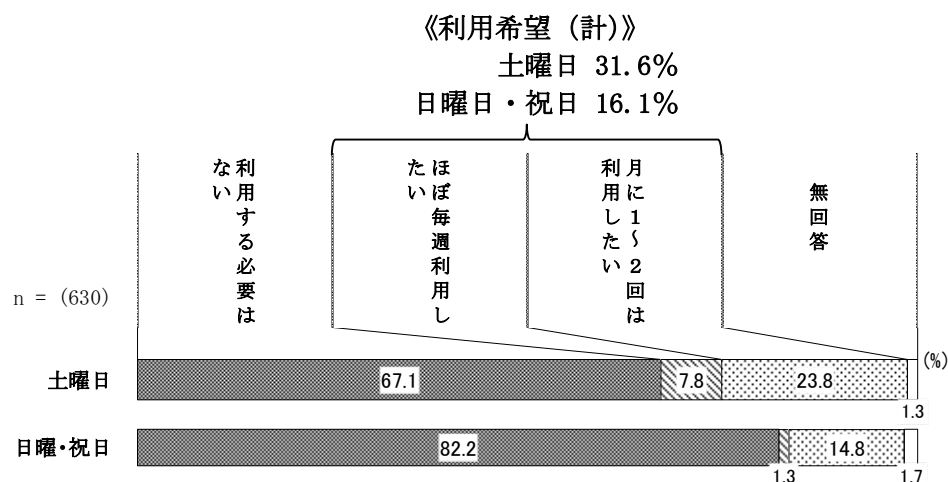


7. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

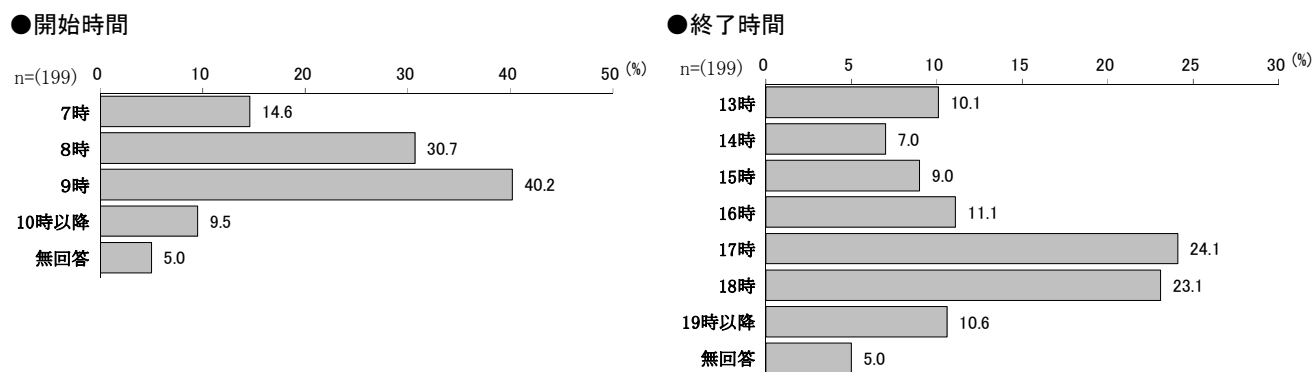
土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望（「ほぼ毎週利用したい」、「月に1～2回は利用したい」の合計）は、土曜日は31.6%となっています。日曜日・祝日は16.1%となっています。

開始時間の希望は、9時が特に多く、終了時間の希望は17時と18時が特に多くなっています。

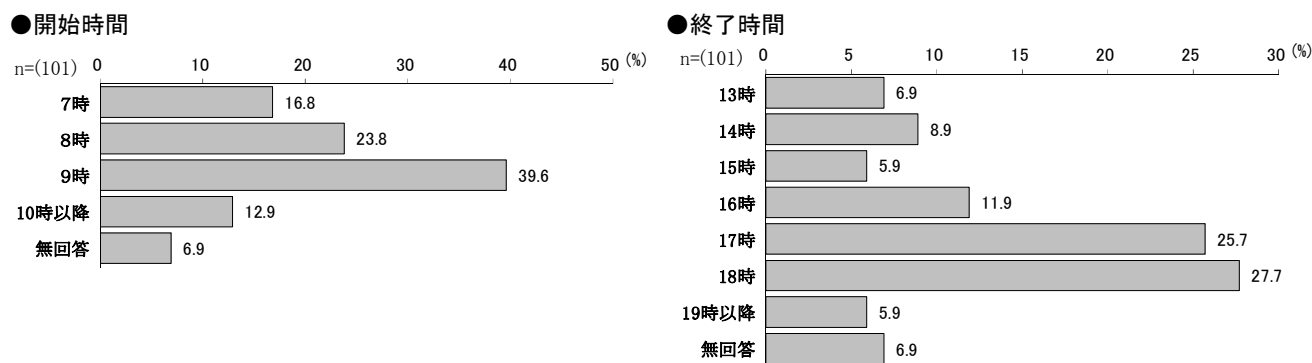
図表60 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望



図表61 土曜日に利用したい時間帯



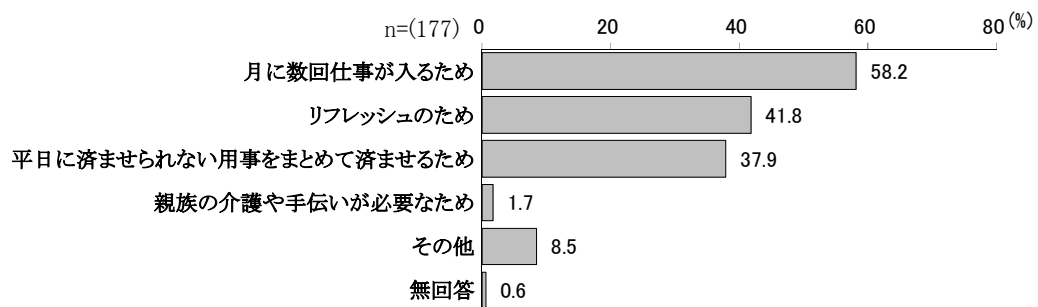
図表62 日曜日・祝日に利用したい時間帯



問 17-1 問 17 の（１）もしくは（２）で、「月に１～２回は利用したい」と回答した方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業を利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」（58.2%）、「リフレッシュのため」（41.8%）、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」（37.9%）、が上位に挙げられています

図表63 月に数回のみ利用したい理由（複数回答）

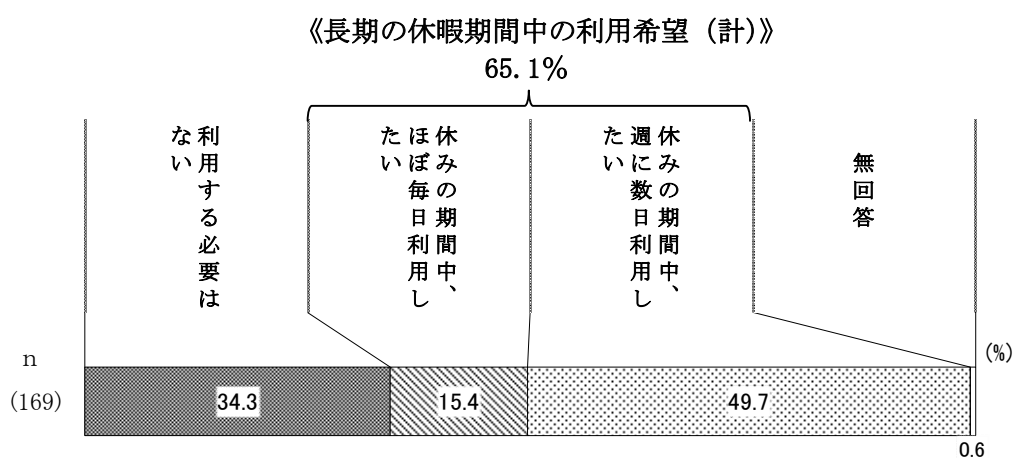


問18 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の利用を希望しますか。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

幼稚園利用者の夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望は、65.1%（「休みの期間中、ほぼ毎週利用したい」（15.4%）、「休みの期間中、週に数日利用したい」（49.7%）の合計）となっています。

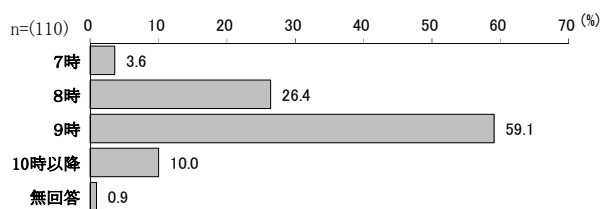
開始時間の希望は、9時が最も多く、終了時間の希望は15時が最も多くなっています。

図表64 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

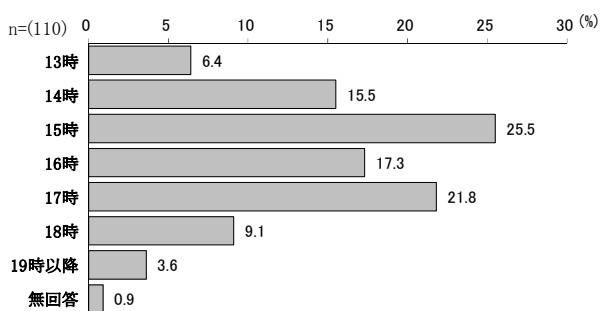


図表65 長期の休暇期間中に利用したい時間帯

●開始時間



●終了時間

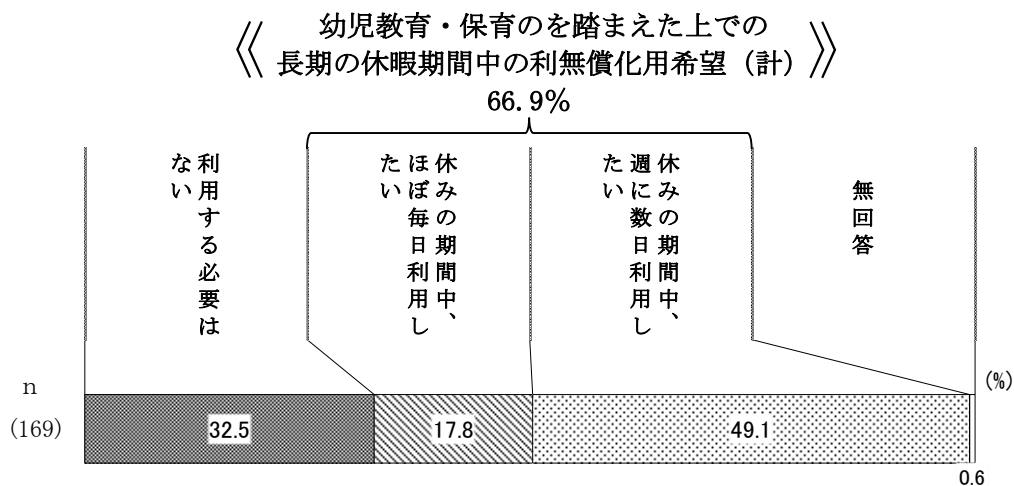


問19 「幼稚園」を利用されている方に、幼児教育・保育の無償化を踏まえた上でいかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。なお、2019年10月からは、保育の必要性（就労など）に該当する世帯のみ、11,300円／月まで無償となります。

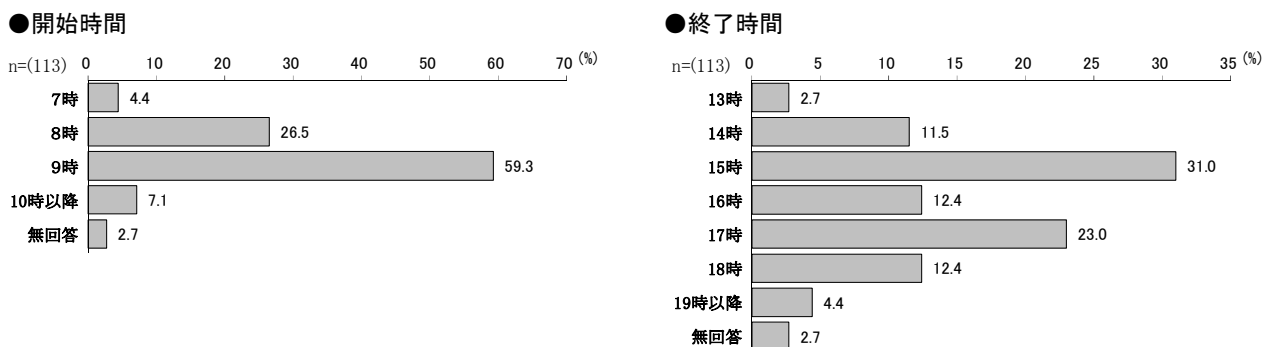
幼児教育・保育の無償化を踏まえた上での、幼稚園利用者の夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望は、66.9%（「休みの期間中、ほぼ毎週利用したい」（17.8%）、「休みの期間中、週に数日利用したい」（49.1%）の合計）となっています。

開始時間の希望は、9時が最も多く、終了時間の希望は15時が最も多くなっています。

図表66 幼児教育・保育の無償化を踏まえた上での長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望



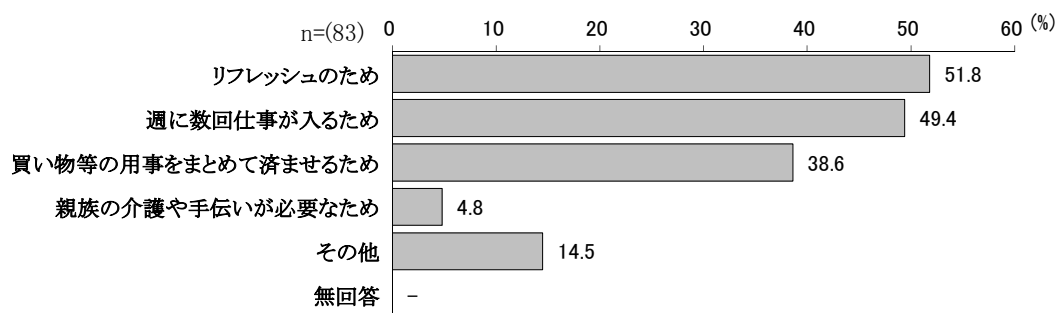
図表67 幼児教育・保育の無償化を踏まえた上で長期の休暇期間中に利用したい時間帯



問 19-1 問 19 で、「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

幼稚園利用者の夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業をたまに利用したい理由は、「リフレッシュのため」（51.8%）、「週に数回仕事が入るため」（49.4%）、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」（38.6%）が上位に挙げられています。

図表68 毎週ではなく、たまに利用したい理由（複数回答）



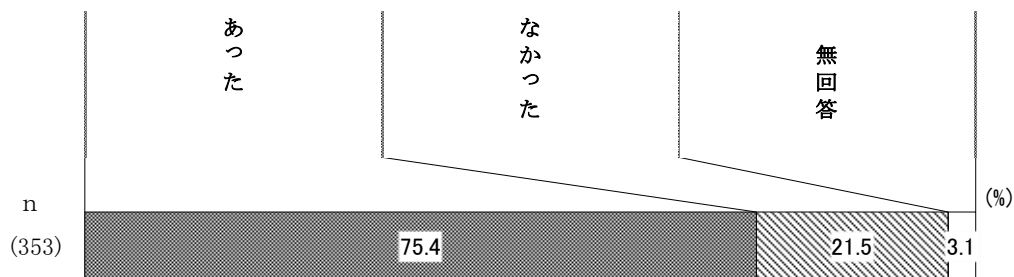
8. 病気の際の対応について（※平日の教育・保育を利用している方のみ）

問 20 問 10 で幼稚園や保育所などを「平日」「定期的」に「利用している」と回答した方にうかがいます。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業（幼稚園、保育所など）が利用できなかったことはありますか。

この1年間に病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかったことがあるかをみると、「あった」が75.4%、「なかった」が21.5%となっています。

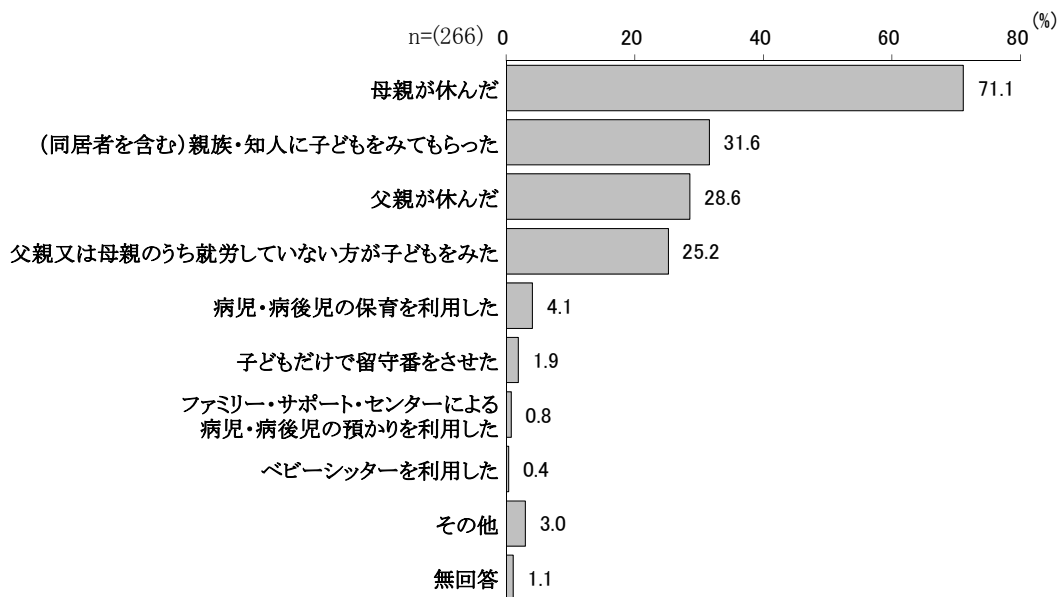
図表69 病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかった経験



問 20-1 問 20 で「あった」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

図表70 病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかった際の対処方法（複数回答）

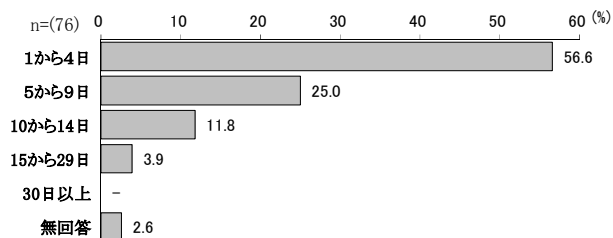


第2章 調査結果（就学前児童保護者）

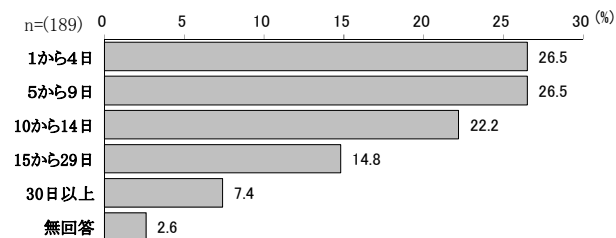
子どもが病気やケガで教育・保育の事業を利用できなかったと回答した247人に、1年間における対処方法をたずねたところ、「母親が休んだ」が71.1%で最も多く、次いで、「親族・知人に子どもをみてもらった」（31.6%）、「父親が休んだ」（28.6%）などとなっています。

図表71 1年間の対処方法別日数

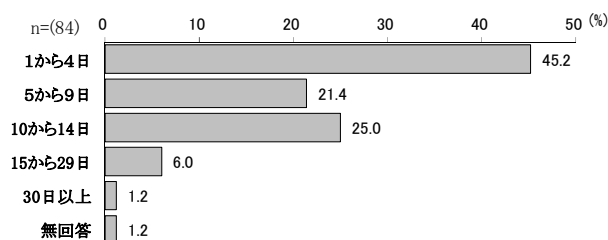
●父親が休んだ



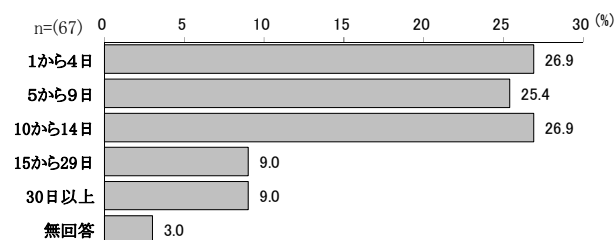
●母親が休んだ



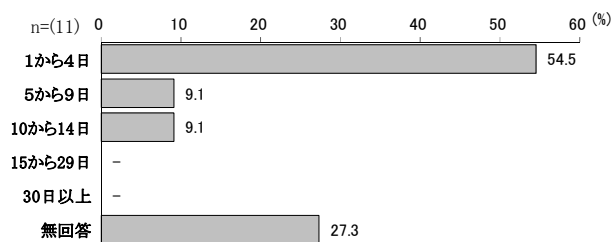
●親族・知人に子どもをみてもらった



●父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた



●病児・病後児の保育を利用した



●ベビーシッターを利用した

・回答者なし

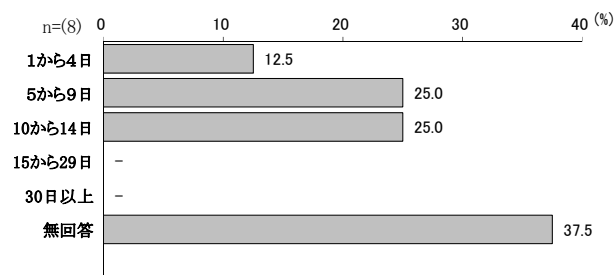
●ファミリー・サポート・センターを利用した

・5から9日：1人

●子どもだけで留守番をさせた

・1から4日：4人

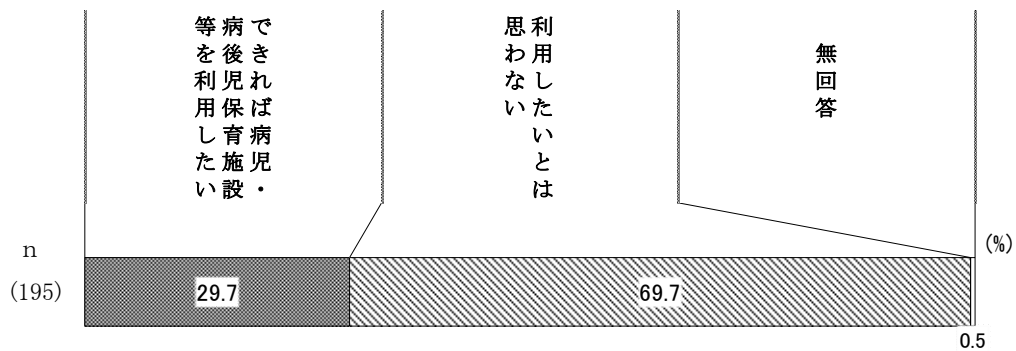
●その他



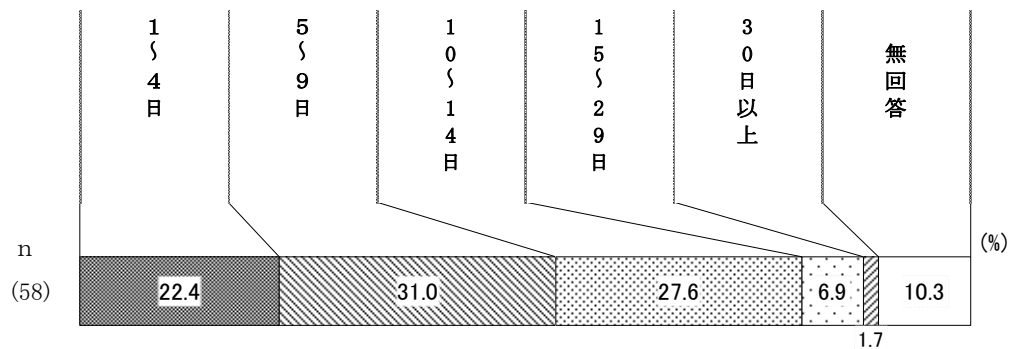
問 20-2 問 20-1 で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」と回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、利用前にかかりつけ医師の受診が必要となります。〔利用料：2,000 円程度/1 回〕

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が29.7%となっています。
また、利用したい日数は、「5～9 日」（31.0%）が最も多く挙げられています。

図表72 病児・病後児保育施設等の利用希望



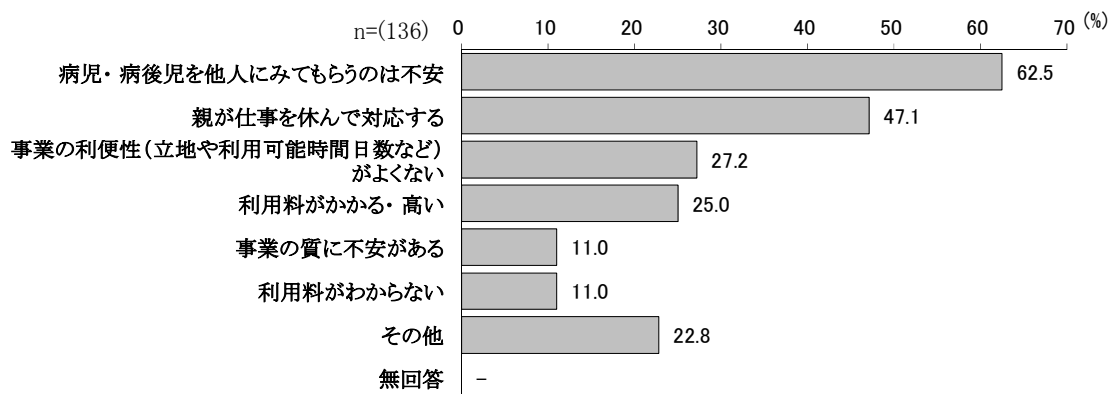
図表73 できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数



問 20-3 問 20-2 で「利用したいと思わない」と回答した方にうかがいます。
 そう思われる理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由をみると、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」（62.5%）、「親が仕事を休んで対応する」（47.1%）が多く挙げられています。

図表74 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由（複数回答）

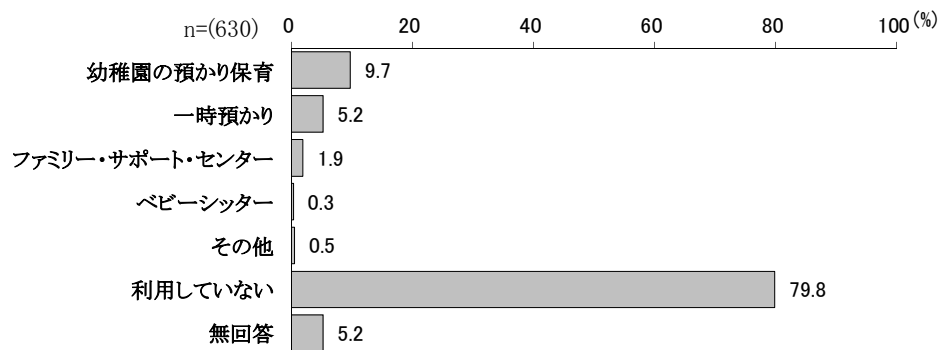


9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 21 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も数字でご記入ください。

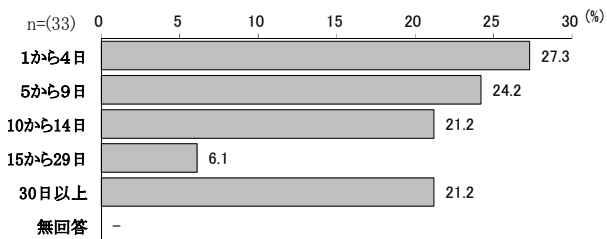
1年間に私用等の目的で不定期に利用した事業については、「幼稚園の預かり保育」が9.7%、「一時預かり」が5.2%などとなっています。一方、「利用していない」が79.8%となっています。

図表75 私用等の目的での不定期の教育・保育事業の利用状況（複数回答）

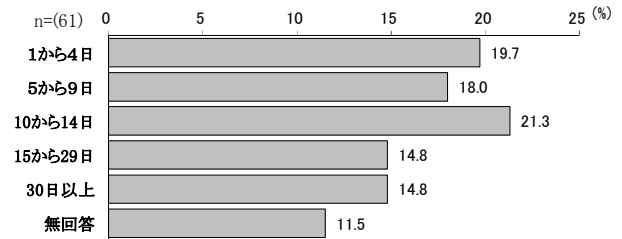


図表76 1年間に利用した事業別日数

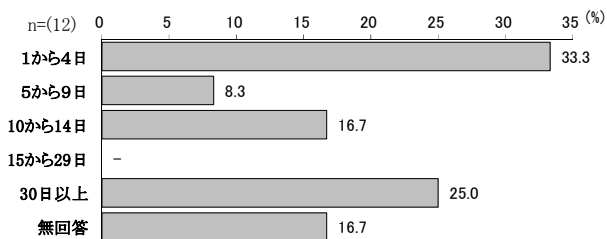
●一時預かり



●幼稚園の預かり保育



●ファミリー・サポート・センター



●ベビーシッター

・ 1 から 4 日 : 4 人

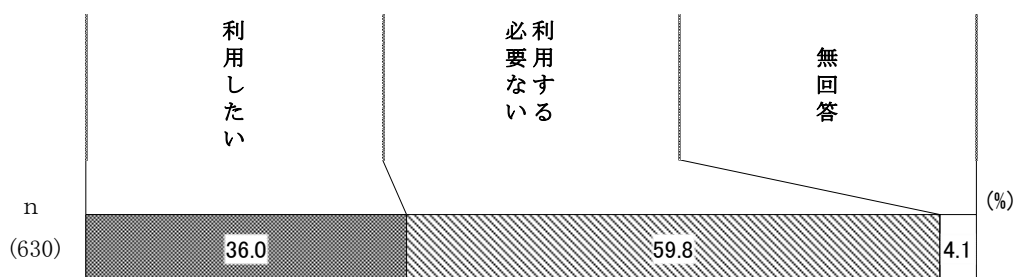
●その他

- ・ 5 から 9 日 : 1 人
- ・ 10 から 14 日 : 1 人
- ・ 15 から 29 日 : 1 人

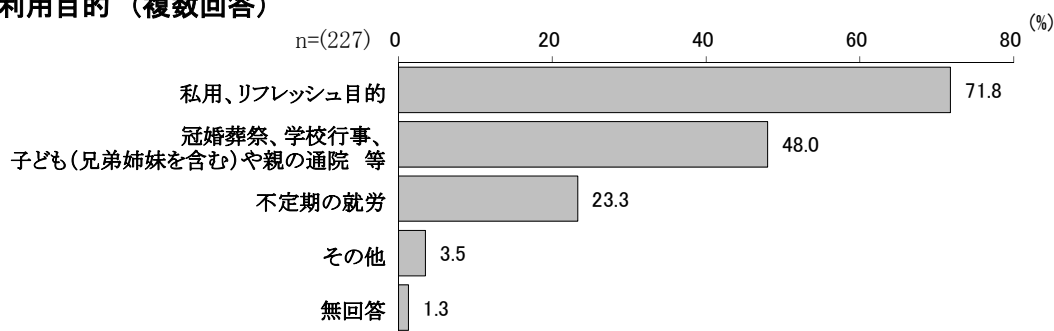
問 22 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号と記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。〔利用料：2,800 円程度/1 回〕

不定期の事業を利用したいと回答した方に、利用目的をたずねたところ、「私用、リフレッシュ目的」が71.8%と最も多く、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院 等」が48.0%、「不定期の就労」が23.3%となっています。

図表77 私用等の目的での不定期の教育・保育事業の利用希望

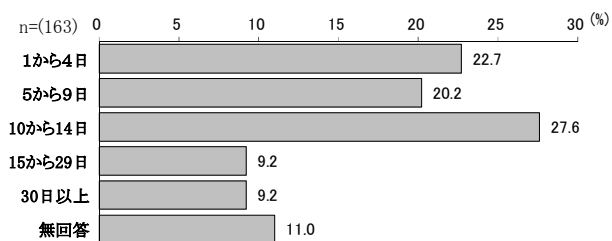


図表78 利用目的（複数回答）

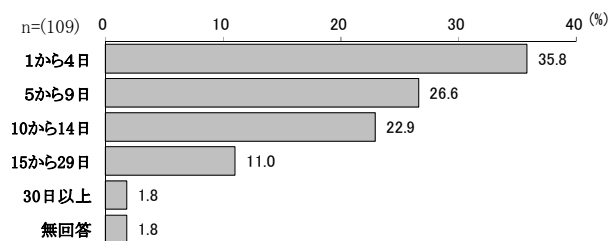


図表79 私用等の目的での不定期の教育・保育事業の利用希望日数

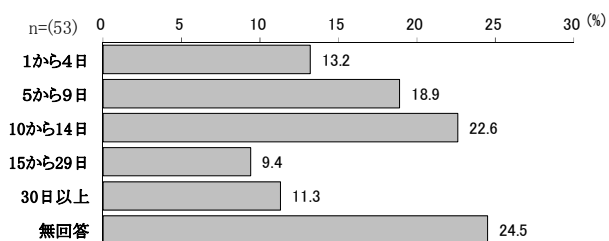
●私用、リフレッシュ目的



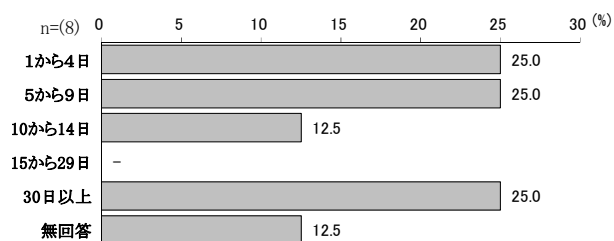
●冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等



●不定期の就労



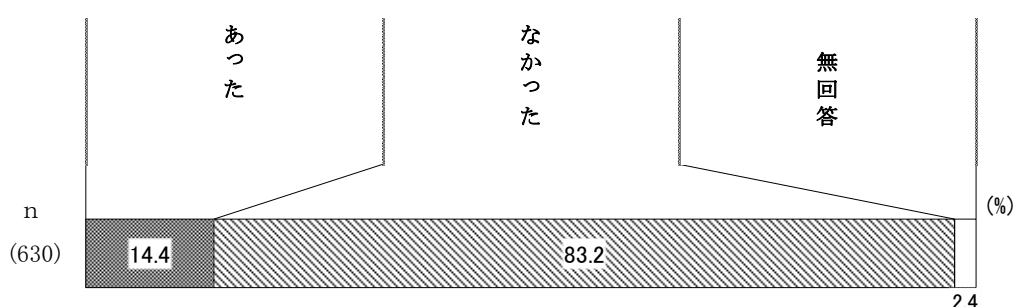
●その他



問 23 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号と記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください。

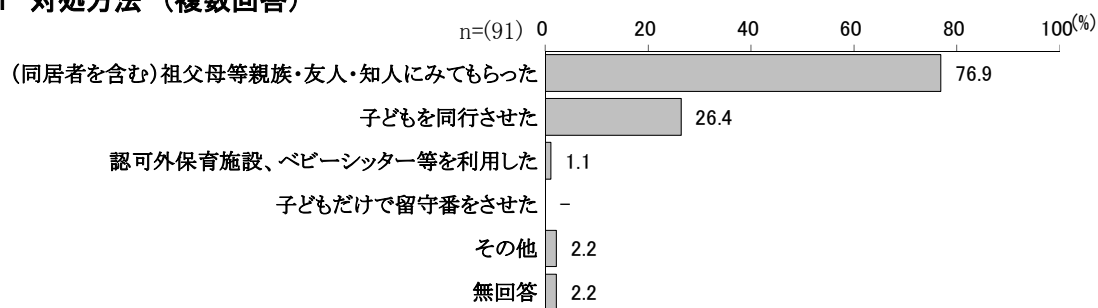
この1年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことがあったかたずねたところ、「あった」が14.4%、「なかった」が83.2%となっています。

図表80 子どもを泊りがけで家族以外の人にみてもらった経験



子どもを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことがあったと回答した方に、対処方法をたずねたところ、「親族・友人・知人にみてもらった」が76.9%で最も多くなっています。

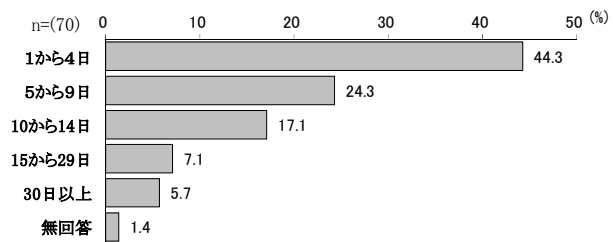
図表81 対処方法（複数回答）



図表82 対処方法の日数

■ 1年間の対処方法

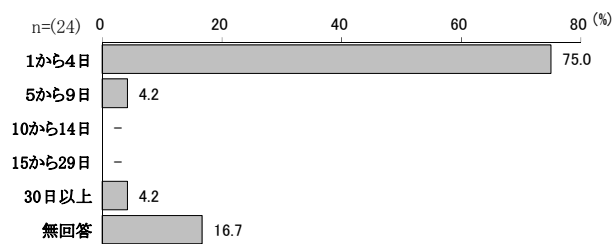
●（同居者を含む）祖父母等親族・友人・知人にみてもらった



●認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した

・回答者なし

●子どもを同行させた



●子どもだけで留守番をさせた

・回答者なし

●その他

・ 1 から 4 日 : 2 人

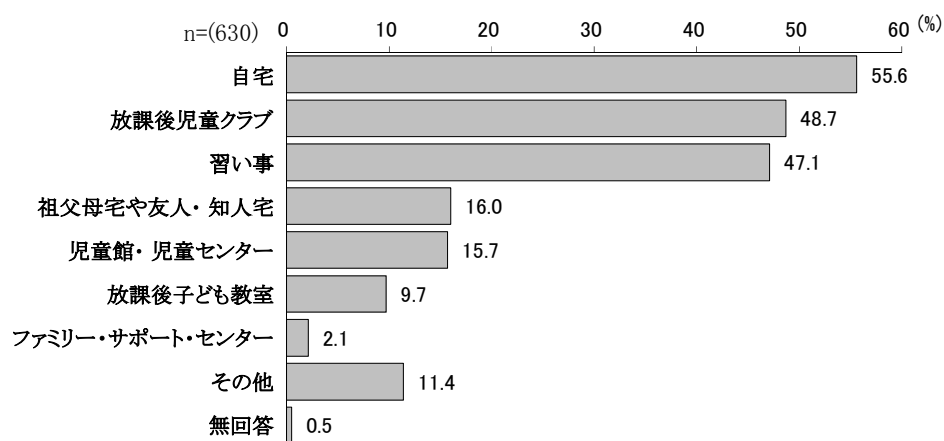
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 24 宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。

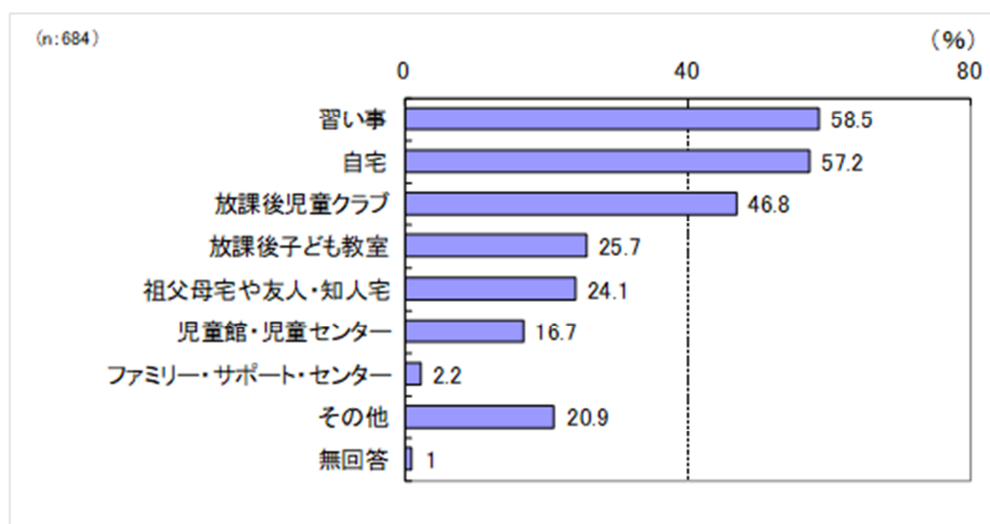
小学校低学年（１～３年生）の間は放課後の時間をどこで過ごさせたいかをたずねたところ、「自宅」が55.6%と最も多く、次いで、「放課後児童クラブ」の48.7%、「習い事」の47.1%となっています。

前回の調査に比べて、上位３つは変わりませんが、「習い事」が11.4ポイント減少し、１位から３位になっています。

図表83 低学年時に子どもを放課後過ごさせたい場所（複数回答）

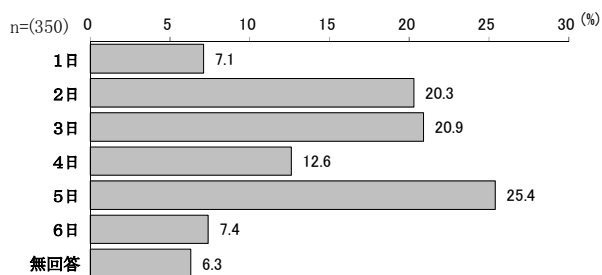


<参考> 前回 平成25年度調査（就学前保護者）（複数回答）

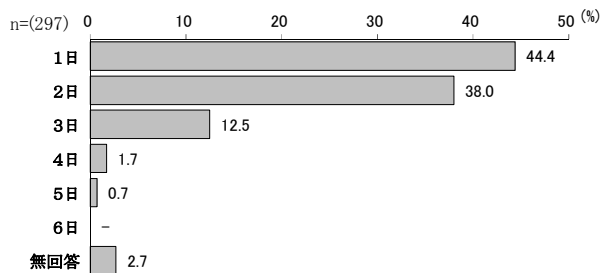


図表84 週あたりの利用希望日数

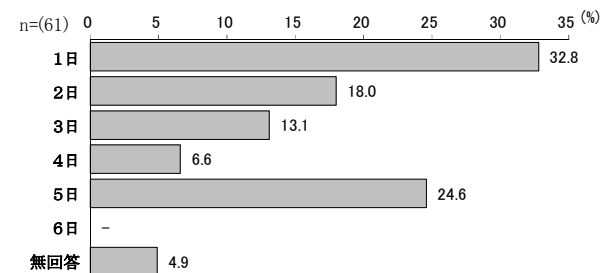
●自宅



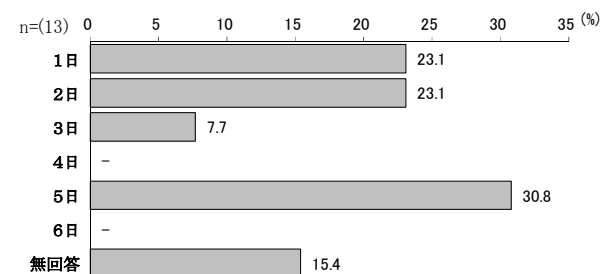
●習い事



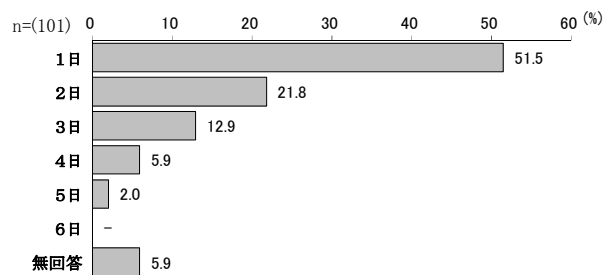
●放課後子ども教室



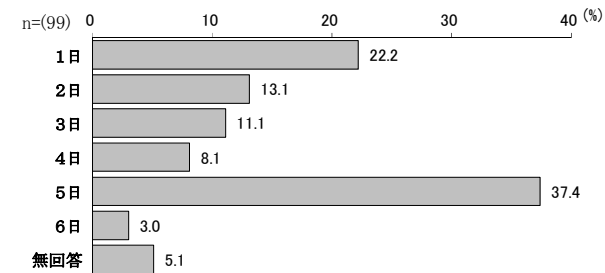
●ファミリー・サポート・センター



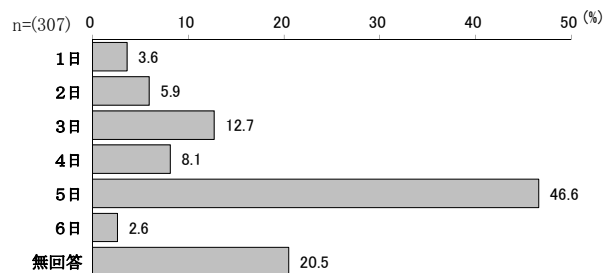
●祖父母宅や友人・知人宅



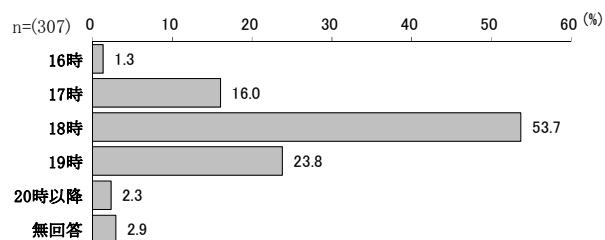
●児童館・児童センター



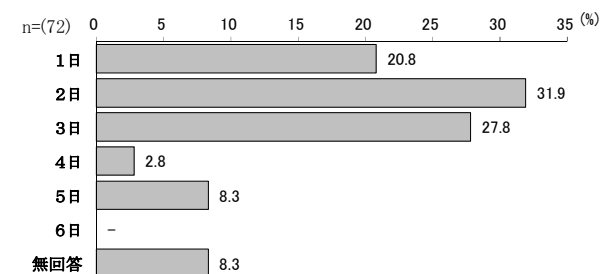
●放課後児童クラブ



↓↓利用希望時間（下校時から）



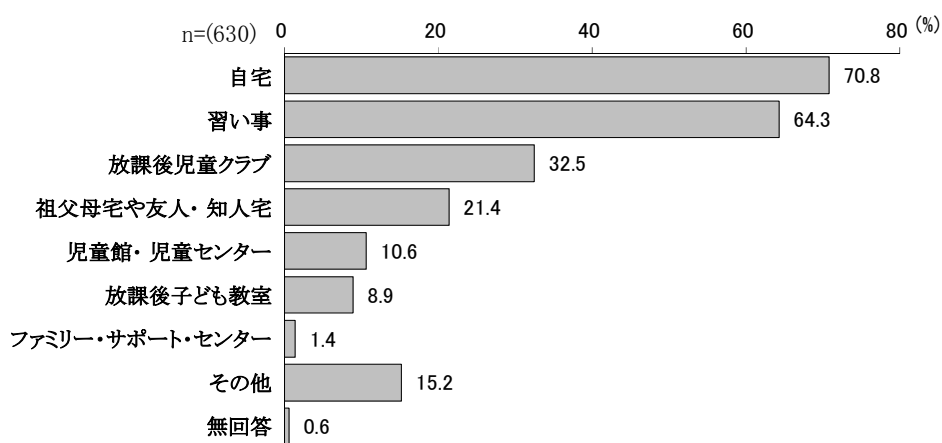
●その他



問 25 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。

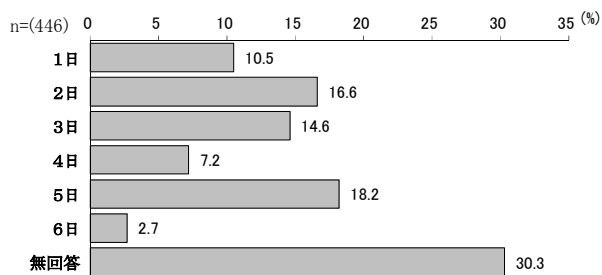
小学校高学年（4～6年生）の間は放課後の時間をどこで過ごさせたいかをたずねたところ、「自宅」が70.8%と最も多く、次いで「習い事」（64.3%）、「放課後児童クラブ」（32.5%）となっています。

図表85 高学年になった場合に子どもを放課後過ごさせたい場所（複数回答）

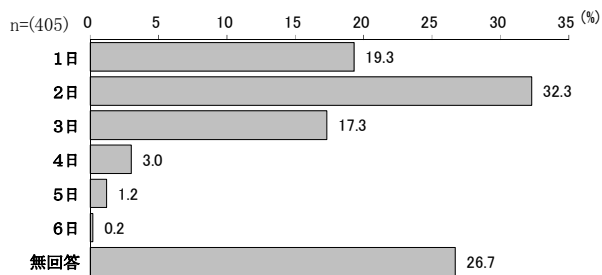


図表86 週あたりの利用希望日数

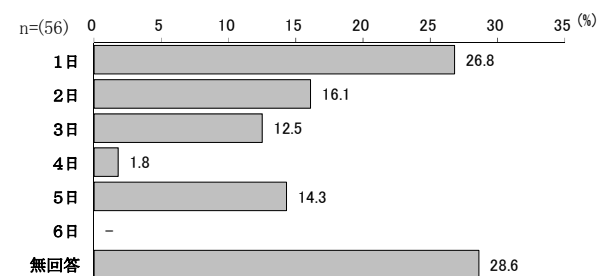
●自宅



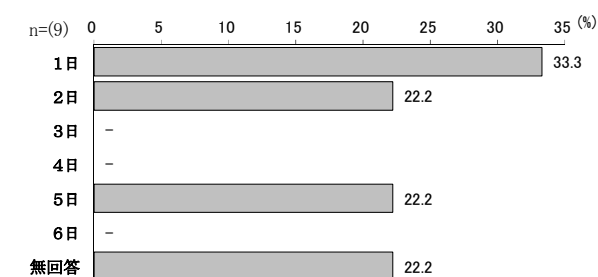
●習い事



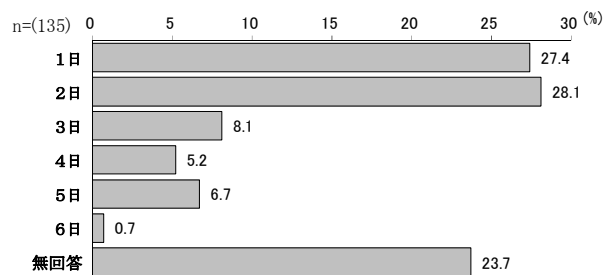
●放課後子ども教室



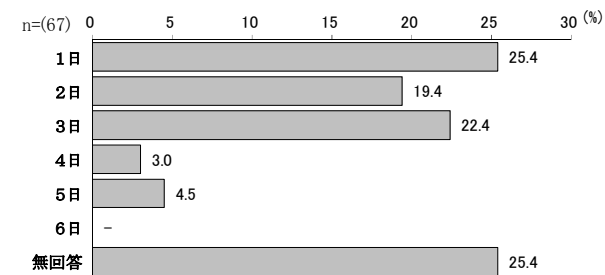
●ファミリー・サポート・センター



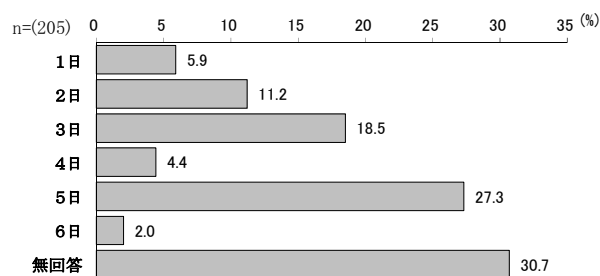
●祖父母宅や友人・知人宅



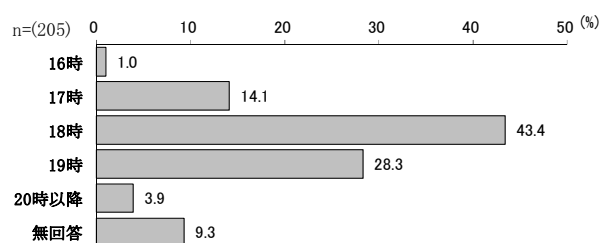
●児童館・児童センター



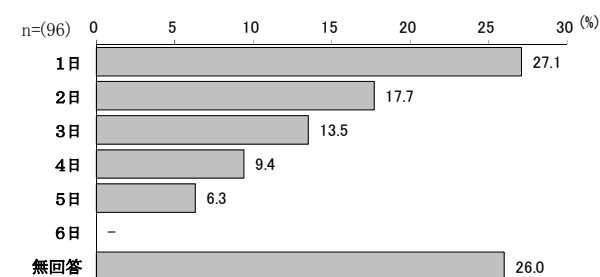
●放課後児童クラブ



↓↓利用希望時間（下校時から）



●その他



問26 問24または問25で「放課後児童クラブ〔三郷市では児童クラブ〕」と回答した方にうかがいます。

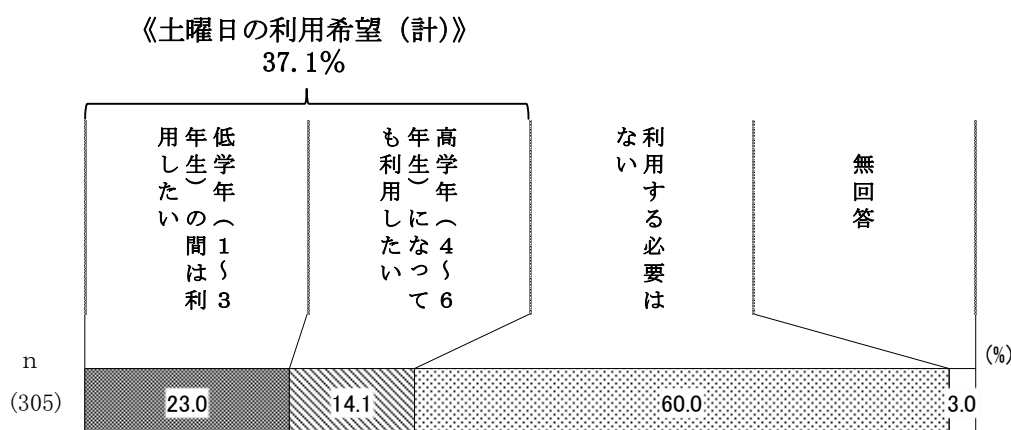
宛名のお子さんについて、土曜日に放課後児童クラブの利用希望はありますか。利用には、負担金（月額10,000円：平成30年現在）がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、ご記入ください。

小学校の低学年または高学年に「放課後児童クラブ」を利用させたいと回答した方に、土曜日の放課後児童クラブの利用希望をたずねたところ、「低学年の間は利用したい」が23.0%、「高学年になっても利用したい」が14.1%と、全体の37.1%に土曜日の利用希望がみられます。

一方、60.0%が「利用する必要はない」と回答しています。

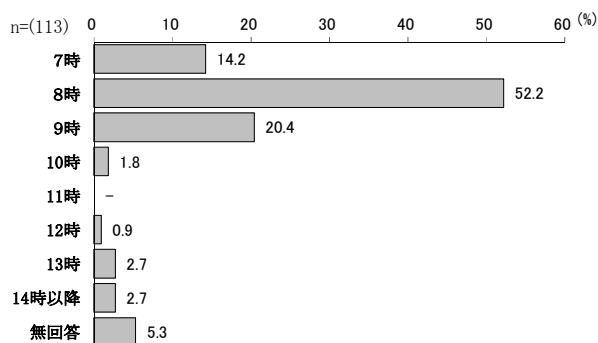
終了時間の希望は、「18時まで」が48.7%と最も多くなっています。

図表87 土曜日の放課後児童クラブの利用希望

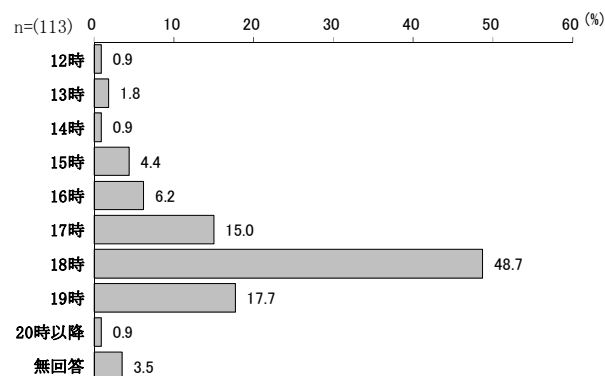


図表88 土曜日に利用したい時間帯

●利用したい時間帯 開始時間



●利用したい時間帯 終了時間



問27 問24 または問25 で「放課後児童クラブ〔三郷市では児童クラブ〕」と回答した方にうかがいます。

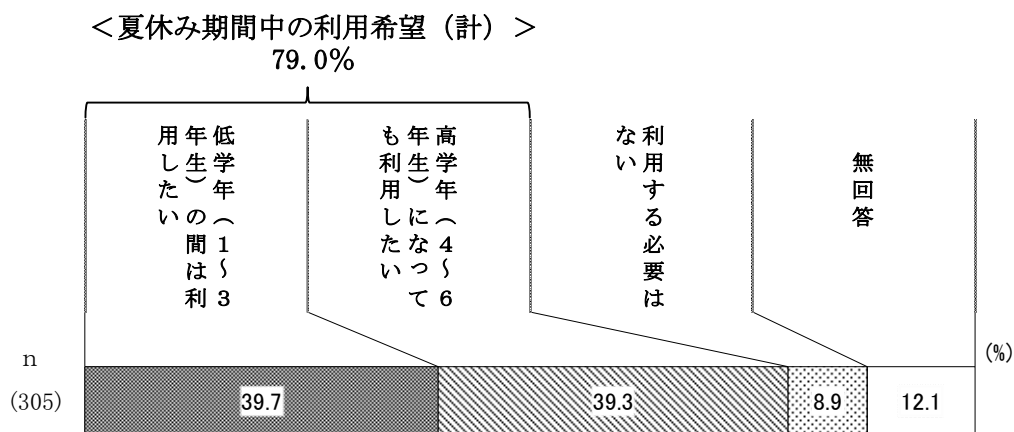
宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み期間中のみの放課後児童クラブの利用希望はありますか。利用には、負担金（月額10,000円：平成30年現在）がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。

小学校の低学年または高学年に「放課後児童クラブ」を利用させたいと回答した方に、夏休み期間中の放課後児童クラブの利用希望をたずねたところ、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が39.7%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が39.3%と、全体の79.0%に長期休暇期間中の利用希望がみられます。

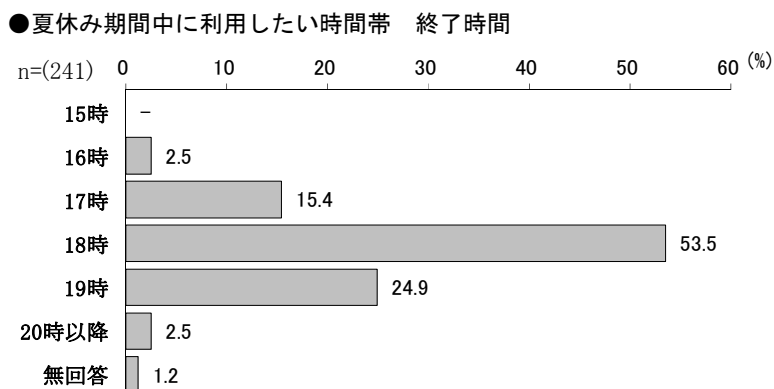
一方、8.9%は「利用する必要はない」と回答しています。

終了時間の希望は、「18時」が53.5%と最も多くなっています。

図表89 夏休み期間中の放課後児童クラブの利用希望



図表90 夏休み期間中に利用したい時間帯



問28 問24または問25で「放課後児童クラブ〔三郷市では児童クラブ〕」と回答した方にうかがいます。

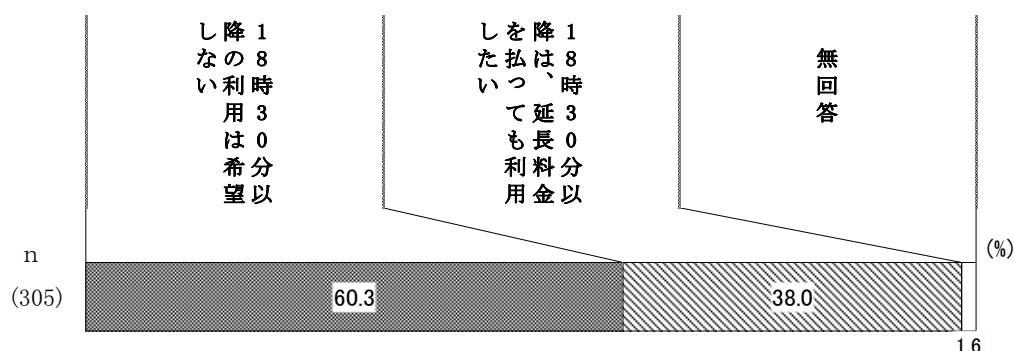
宛名のお子さんについて、平日に、放課後児童クラブの利用を希望される場合、18時30分以降の利用について、当てはまる番号1つに○をつけ、支払い方法は、希望する番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、ご記入ください。

放課後児童クラブを「18時30分以降は、延長料金を払っても利用したい」が38.0%、「18時30分以降の利用は希望しない」が60.3%となっています。

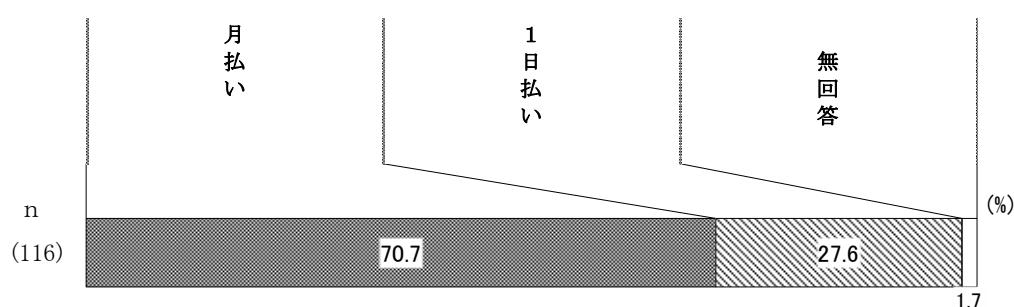
利用したい場合に希望する支払方法は「月払い」（70.7%）が「1日払い」（27.6%）を43.1ポイント上回っています。

終了時間の希望は、「19時」が74.1%と最も多くなっています。

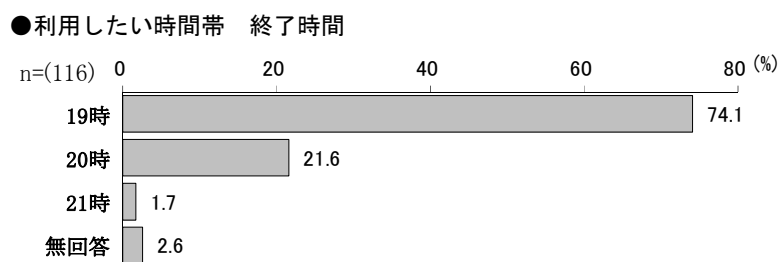
図表91 平日18時30分以降の放課後児童クラブの利用希望



図表92 利用したい場合に希望する支払方法



図表93 平日18時30分以降に利用したい時間帯



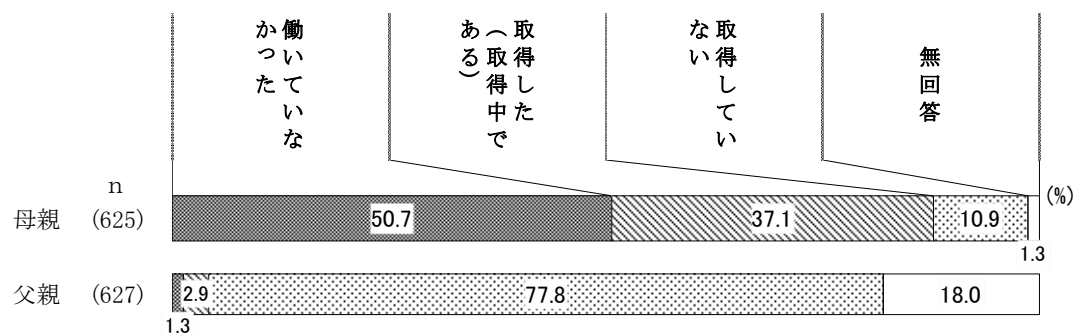
11. 育児休業や短時間勤務制度など 職場の両立支援制度について

問 29 宛名のお子さんが生まれた時の育児休業についてうかがいます。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

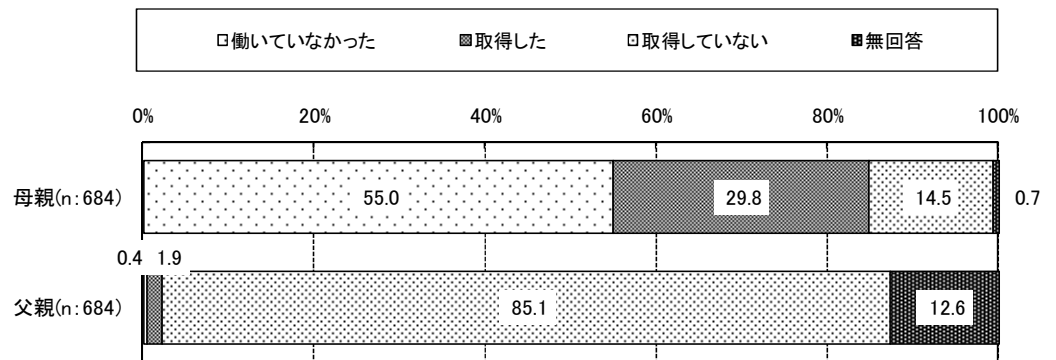
育児休業の取得割合は、母親で37.1%、父親で2.9%となっています。

前回の調査に比べて、母親、父親とも取得割合はそれぞれ7.3ポイント、1.0ポイント増えています。

図表94 育児休業の取得状況



<参考> 前回 平成25年度調査（就学前保護者）

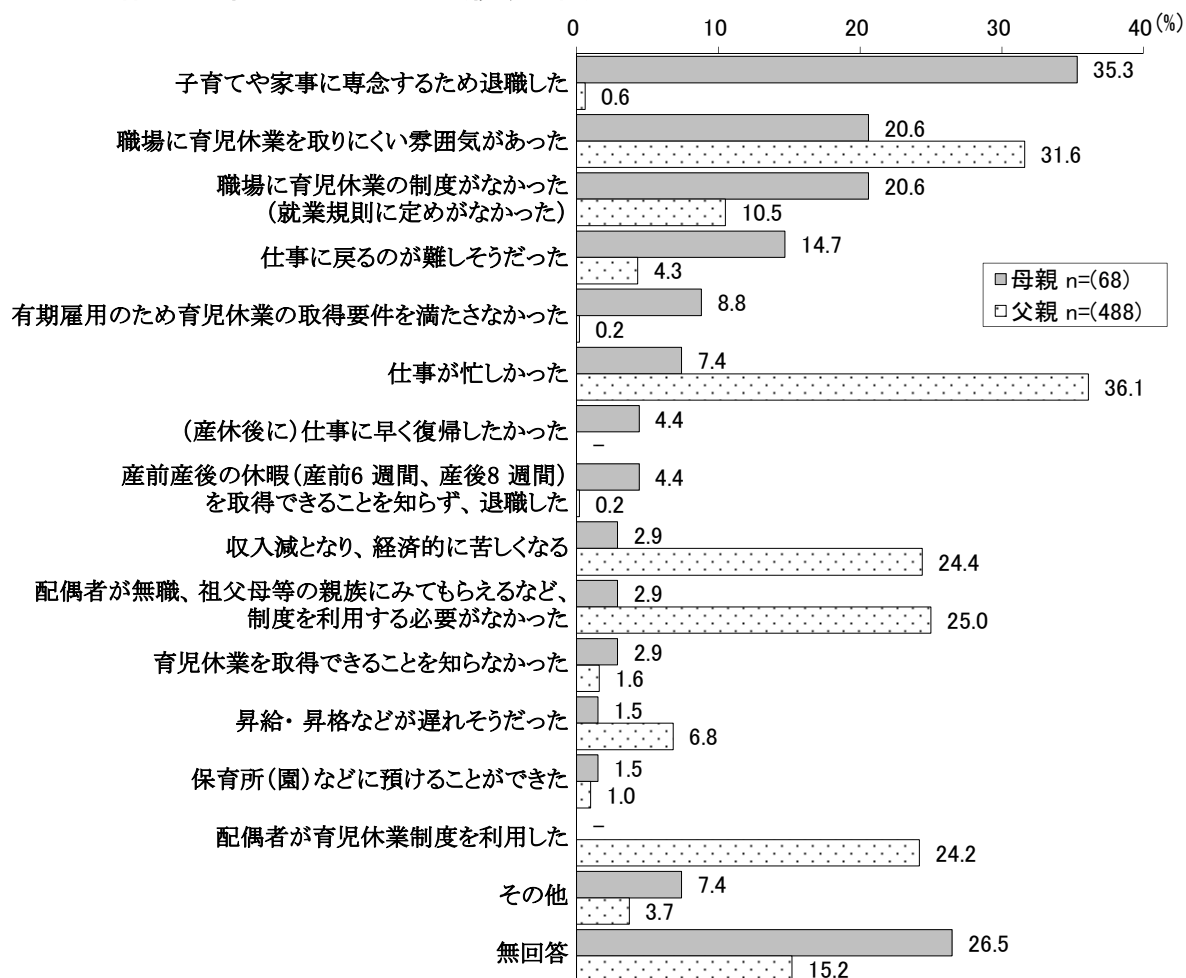


第2章 調査結果（就学前児童保護者）

育児休業を取得していない母親の理由をみると、「子育てや家事に専念するため退職した」が35.3%と最も多く、次いで「職場に育児休業制度を取りにくい雰囲気があった」（20.6%）、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」（20.6%）などが上位に挙げられています。

同様に、育児休業を取得していない父親の理由をみると、「仕事が忙しかった」が36.1%と最も多く、次いで「職場に育児休業制度を取りにくい雰囲気があった」（31.6%）、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」（25.0%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（24.4%）などが上位に挙げられています。

図表95 育児休業を取得していない理由（複数回答）

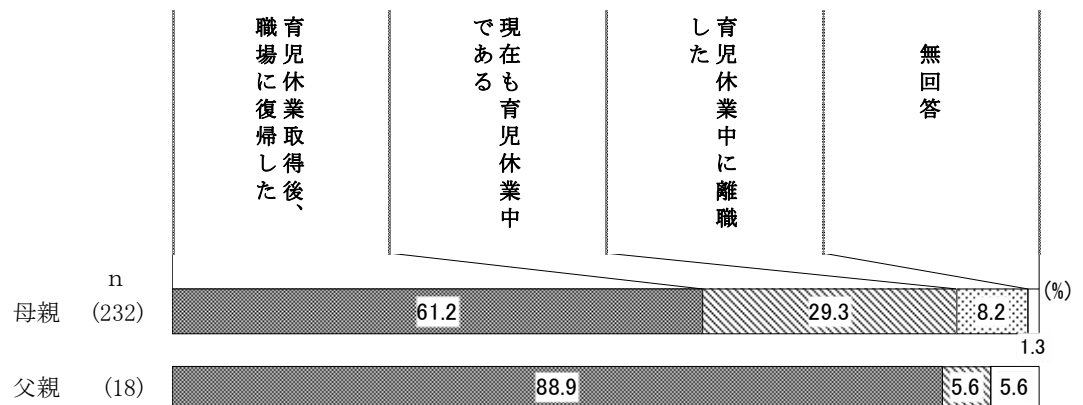


問 29-1 問 29 で「取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。（それ以外の方は問 30 へ）育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

育児休業を取得した母親の職場への復帰状況をみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 61.2%で最も多く、「現在も育児休業中である」が29.3%、「育児休業中に離職した」が8.2%となっています。

一方、育児休業を取得した父親の職場への復帰状況をみると、「育児休業中に離職した」が0.0%となっています。

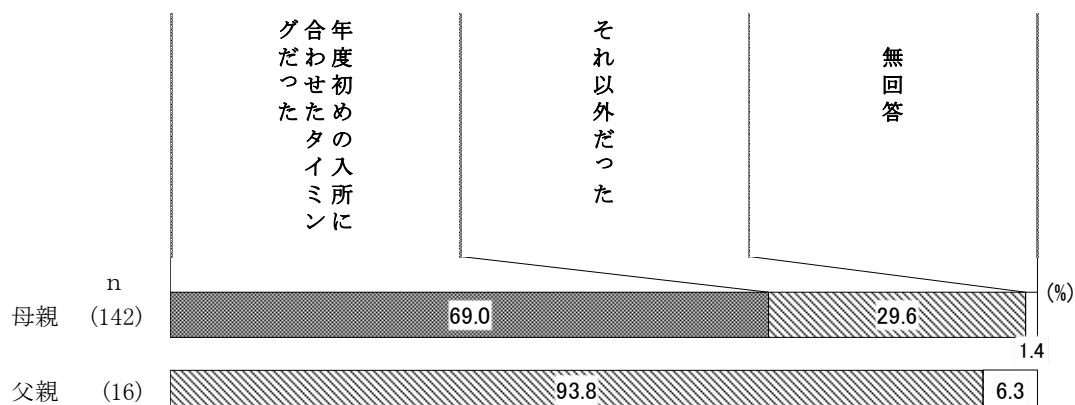
図表96 育児休業からの職場復帰の時期



問 29-2 問 29-1 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」に当てはまります。
 また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。

育児休業取得後の職場復帰が年度初めの保育所入所に合わせたタイミングだったかをみると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」は母親が69.0%、父親が0%となっています。

図表97 保育所入所の時期



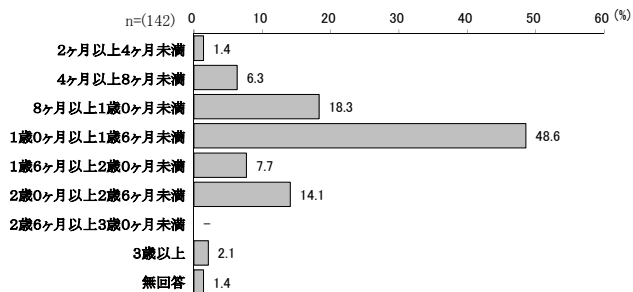
問 29-3 問 29-1 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。数字でご記入ください。

育児休業後職場に復帰した時期について実際と希望を比較すると、母親では「1歳0ヶ月以上1歳6ヶ月未満」が実際では割合が最も高く、希望でも最も割合が高いのが「1歳0ヶ月以上1歳6ヶ月未満」となっています。しかし、希望では「3歳以上」が26.8%もあることから、実際の復帰時期は希望より早く復帰している割合が高いことがうかがえます。

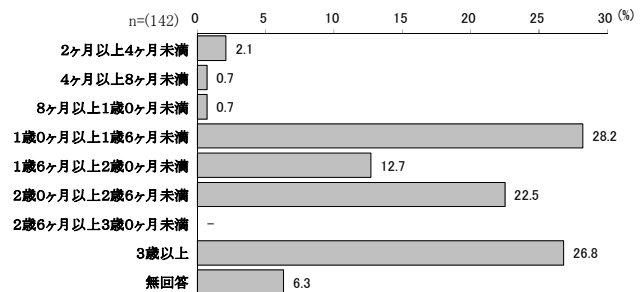
図表98 育児休業からの職場復帰の時期

(1) 母親

●実際の復帰時期

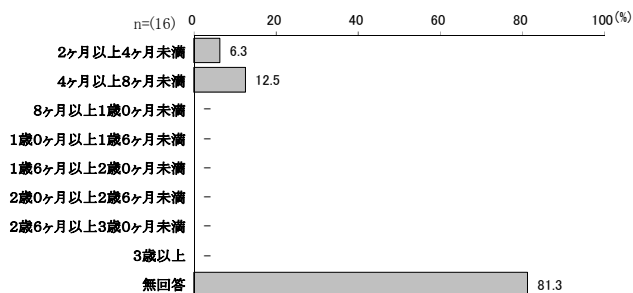


●希望の復帰時期

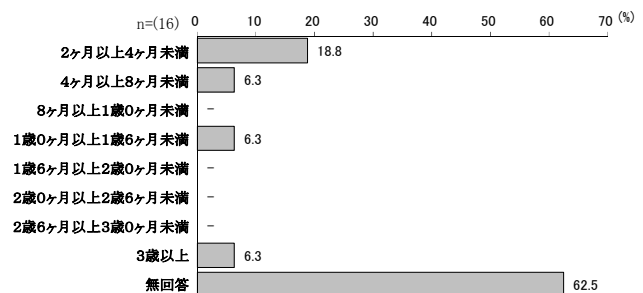


(2) 父親

●実際の復帰時期



●希望の復帰時期

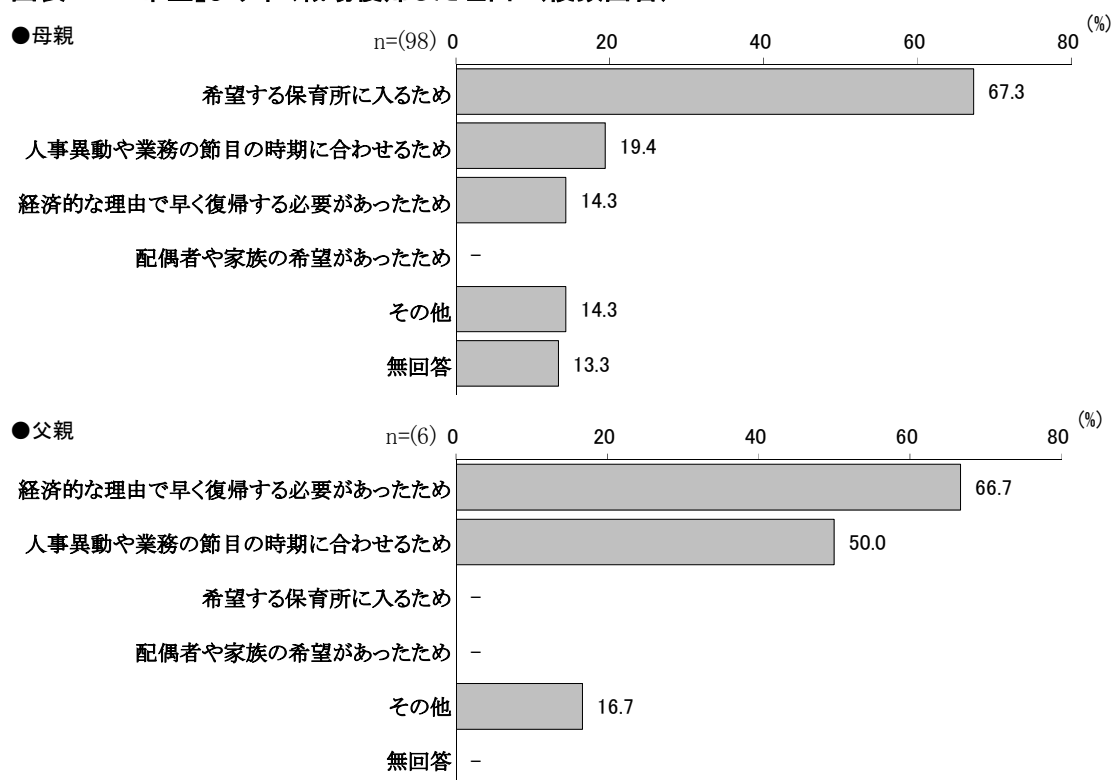


問 29-4 問 29-3 で「実際」と「希望」と異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

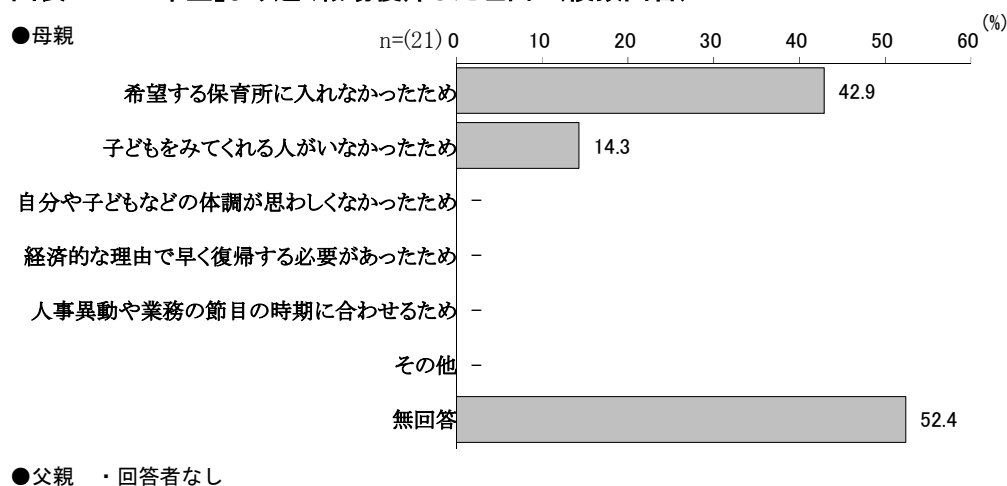
育児休業取得後、職場に復帰した母親に、希望の時期より早く職場復帰した理由をたずねたところ、「希望する保育所に入るため」が67.3%と多くなっています。

一方、希望の時期より遅く職場復帰した理由については、「希望する保育所に入れなかったため」が42.9%と多くなっています。

図表99 「希望」より早く職場復帰した理由（複数回答）



図表100 「希望」より遅く職場復帰した理由（複数回答）



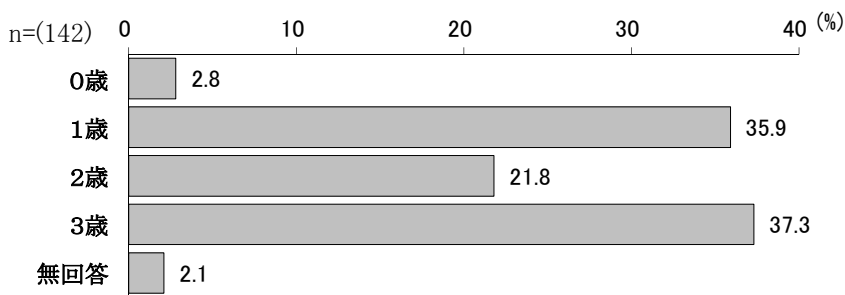
問 29-5 問 29-1 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。数字でご記入ください。

育児休業取得後、職場に復帰したと回答した方に、子どもが3歳になるまで育児休業を取得できる制度があった場合の育児休業の取得希望をみると、母親は「3歳」が37.3%、3歳未満の合計が60.5%と制度があっても3歳以前に復帰すると回答した割合が高くなっています。

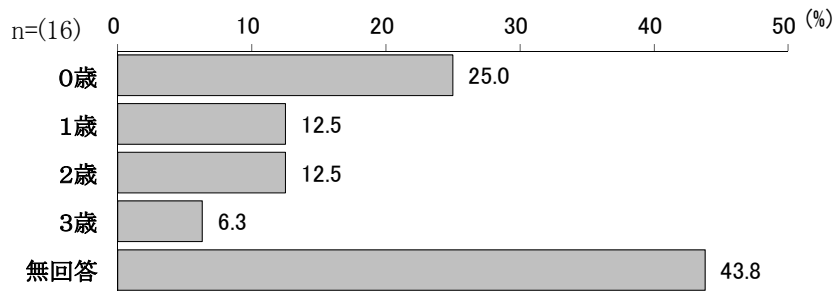
また、父親では1人が「3歳」、8人が3歳以前と回答しています。

図表101 3歳まで育児休業取得可能な場合の取得希望時期

(1) 母親



(2) 父親



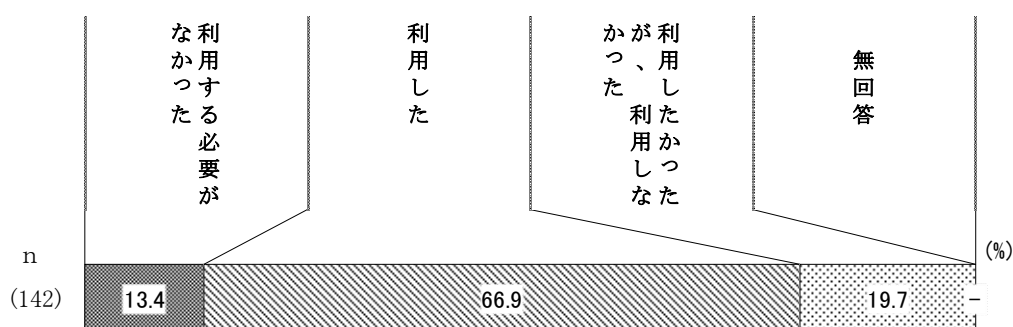
問 29-6 問 29-1 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1
 つに○をつけてください。

職場復帰時に短時間勤務制度を利用したかをたずねたところ、母親では、「利用した」が66.9%、「利用したかったが、利用しなかった」が19.7%、「利用する必要がなかった」が13.4%となっています。

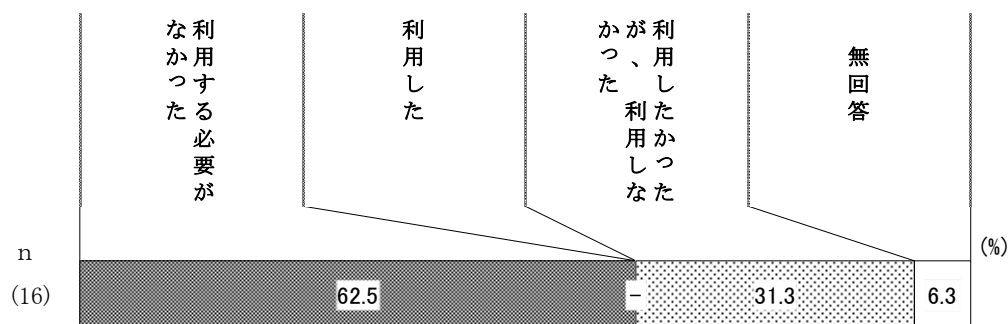
父親では、「利用する必要がなかった」が62.5%、「利用した」0%、「利用したかったが、利用しなかった」が31.3%となっています。

図表102 短時間勤務制度の利用状況

(1) 母親



(2) 父親



問 29-7 問 29-6 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

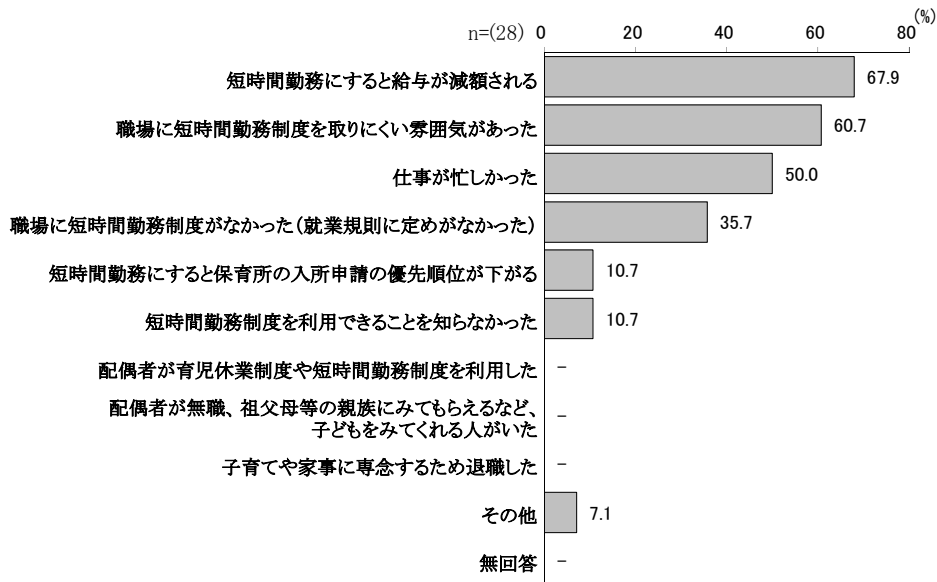
短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

職場復帰時に短時間勤務制度を利用しなかった理由をたずねたところ、母親は「短時間勤務にすると給与が減額される」が67.9%と最も多く、次いで、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」（60.7%）「仕事が忙しかった」（50.0%）、「職場に短時間勤務制度がなかった（職務規定に定めがなかった）」（35.7%）の順となっています。

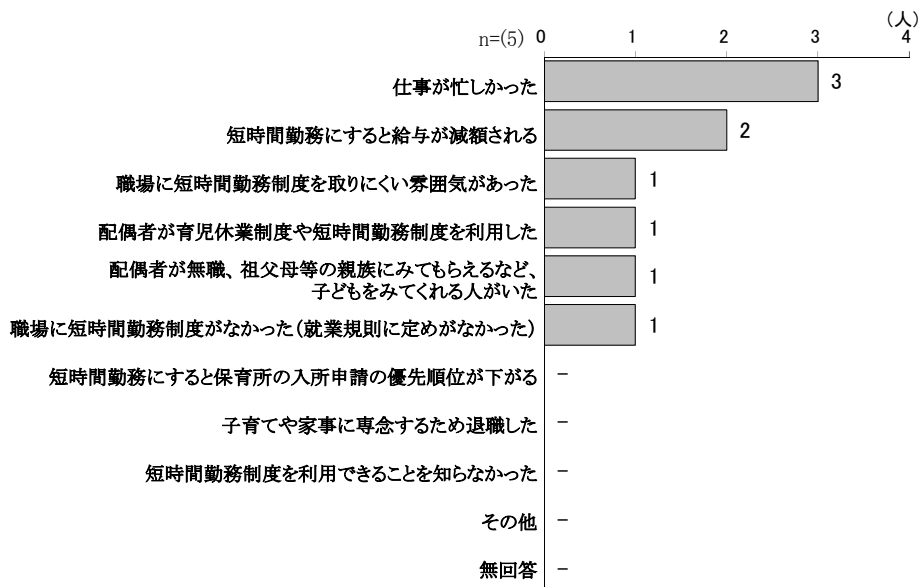
父親は、「仕事が忙しかった」が3人、「短時間勤務にすると給与が減額される」が2人、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた」が1人となっています。

図表103 短時間勤務制度を利用しなかった理由（複数回答）

(1) 母親



(2) 父親



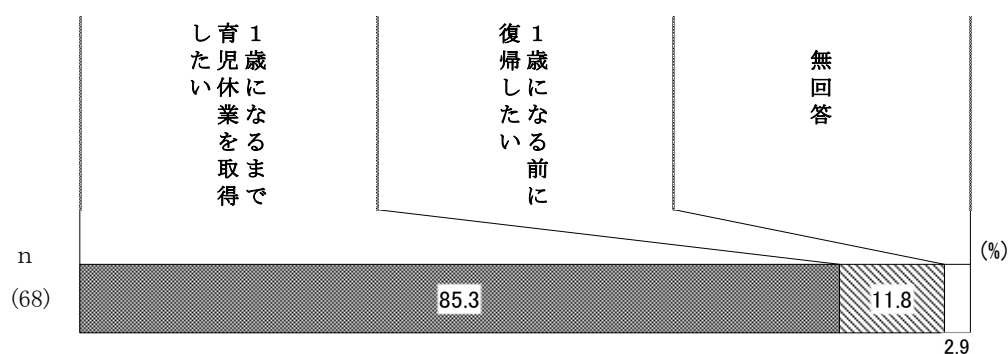
問 29-8 問 29-1 で「現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる教育・保育事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる教育・保育事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

育児休業取得後、現在も育児休業中である母親について、子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があった場合の育児休業の取得希望をみると、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が85.3%、「1歳になる前に復帰したい」が11.8%となっています。

図表104 1歳児で必ず利用できる事業があった場合の育児休業の取得希望

(1) 母親



(2) 父親

- ・ 1歳になる前に復帰したい：1人

問 30 子ども・子育て支援について、ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

子ども・子育て支援についてのご意見を記入していただいたところ、252人から268件の意見をいただきました。分類した意見の件数と主な内容は以下のとおりです。

	件数
子どもの権利や安全の確保	13
子どもの社会的成長の促進	8
子どもの教育環境の充実	89
安心出産と親子の健康	30
子育て家庭への支援	104
男女が協力する子育て社会の実現	5
地域支援協力体制の構築	18
合計件数	268

1. 子どもの権利や安全の確保(13件)

- きちんとした歩道がほしい。せまい道が多い。スピードを出す車が多くてこわい。うちの子もひかれそう。
- 保育園の感染対策等に、もう少し力を入れてほしい。
- 外灯が少なく暗い道が多いので、外灯を増やして欲しい。大通りの歩道がない場所があり、危険なので整備して欲しい。

2. 子どもの社会的成長の促進(8件)

- ピアラシティ交流センターや他の文化センターで行われている。子供向けの体験講座などを三郷中央の新しい施設でできるようにしてほしいです。
- 公園内の舗装道路上に、砂つぶがあり、幼児が何人も滑って転んで頭部を負傷している。早期に対応してほしい。
- 最近歩いて行ける公園がなくなりました。休みの日に子供を連れて行ける公園がありません。小さな子供が歩いて行ける公園はもうなくなるのでしょうか？

3. 子どもの教育環境の充実(89件)

- 学区の見直し+小学校の移設などして教育環境を整えてほしい。
- 教育機関（幼稚園、小学校）を増やしてほしい。新和小学校区だか、新和小はすでに1,000人（全校生徒）越えてこれから人口が増えて行くのに目が行き届くのか不安である。又は学区編成を考えてほしい。

4. 安心出産と親子の健康(30 件)

- 子供の預け先が少ないなと感じました。三郷市には子供の数の割に小児科が少ないです。具合の悪い子を抱え、半日かけて（待ち時間を含めて）受診は何とかなりませんか。
- 子供の入院や検査等できる総合病院、産科のある総合病院を市内に作ってほしい。いずれも大きな病院となると市外にでなくてはならない為、とても不便。
- 夜間の急病で、他市町村の病院に2度子供を連れて行くことがありました。三郷市内の病院で対応してもらえると助かります。

5. 子育て家庭への支援(100 件)

- まだ子どもが小さいので、なかなか外出もしにくく、子育てを支援する事業を利用しづらい。家の中でも困ったことがあれば気軽に電話で相談できるような支援をしてもらいたい。
- 保育所の数を増やして欲しい。小規模保育（0～2歳）では意味がない。子供にとっては人格形成を担う期間場所であるため、同じ場所で小学生になるまで保育を受けることが望ましいと思う。
- 三郷中央駅だけでなく、三郷駅や新三郷駅でも保育の送迎システムを作っていただきたいです。

6. 男女が協力する子育て社会の実現(5件)

- 旦那の子育てへの意識改革が必要。
- 子育て中の母親の負担について、会社の経営者が知らない事が多すぎると思います。（経営者は男性が多いので）

7. 地域支援協力体制の構築(20 件)

- 来年度就学予定だが、児童数が増加しているのでみまもり隊を作って欲しい。また、旗振りなどの活動ももう少し考えて欲しい。